

- 三 牧畜ニ適スル箇所
 - 四 牧草若ハ綠肥採取等ノ爲沖繩縣民ノ農業上必要ナル箇所
 - 五 自用材又ハ移用材採取ノ爲沖繩縣民ニ必要ナル箇所
 - 六 第四條ニ該當セサル箇所
- 前項第五號ノ箇所ハ地元ノ區、間切、島又ハ村ノ地籍ニ屬スル國有林野ノ全面積ノ二分ノ一ヲ超スルコトヲ得ス但シ地方ノ狀況ニ依リ此ノ標準ニ依リ難キ場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル林野ハ國有トシテ存置スヘキモノトス
- 一 森林法第八條各號ノ一ニ該當スル箇所
 - 二 前條第一號乃至第五號ニ依リ國有トシテ存置ヲ要セサル區域ヲ除キタル林野ニシテ左ノ一ニ該當シ國ニ於テ林業ヲ經營スルニ適スル箇所
 - イ 一團地ノ面積一千町歩以上ナルモノ
 - ロ 一團地ノ面積二百町歩以上ニシテ團地相互ノ交通不便ナラス其ノ合計面積一千町歩以上ナルモノ
 - ハ 一團地ノ面積二百町歩以上ニシテ一千町歩以上ノ存置箇所ト併セテ作業ヲ爲シ得ヘキモノ
 - 三 國ノ林業經營上必要ナル箇所
 - 四 地元ノ間切、島又ハ村ニ於テ現在利用ノ見込ナク民有ニ適セサル箇所
- 第五條 國有林野ニシテ境界整齊ナラサル區域ハ之ヲ整理スル爲適宜分割シテ存置ヲ要セサル區域ト爲スヘキモノトス

- 第六條 第三條第二號乃至第五號及第四條第一號第二號及第四號ノ箇所ハ嶺又ハ谷等可成天然ノ地勢ニ依リ且其ノ產物利用上障碍ナキ嶺區域ヲ定ムヘシ
- 第七條 存置區別調査員及處分調査員國ニ於テ負擔スル義務ノ附帶スル林野ニ付實地調査ヲ爲ス場合ニ於テハ可成其ノ權利者ヲ立會ハシムヘシ
- 第八條 沖繩縣知事ハ部下ノ吏員ヲシテ隨時存置區別調査及處分調査ノ實況ヲ監督セシムヘシ
- 第二章 存置區別調査
- 第九條 存置區別調査員ハ實地ニ就キ第三條乃至第六條ノ規定ニ依リ國有林野ノ存置不要存置ノ區別ヲ調査スヘシ
- 前項ノ場合ニ於テ存置スヘキ國有林野ニ付テハ尙左ノ事項ヲ調査シ第五號ノ事項ニ付テハ區域圖ヲ調製スヘシ
- 一 存置ヲ要スヘキ林野相互ノ干係
 - 二 林況ノ概要
 - 三 利用未利用部分ノ區別及現今利用ノ狀況
 - 四 將來ニ於ケル造林、利用及收支ノ概要
 - 五 產物ノ讓與不讓與部分ノ區別及其ノ區域
- 第十條 存置區別調査員前條ノ調査ヲ終リタルトキハ沖繩縣知事ノ定ムル様式ニ從ヒ國有林野存置不要存置區別表、存置國有林野調查、主產物讓與不讓與區域圖及存置不要存置國有林野ノ位置ヲ見ルニ足ルヘキ圖面ヲ調製シテ沖繩縣知事ニ差出スヘシ
- 第十一條 沖繩縣知事ハ存置區別ノ調査ヲ終リタルモノニ付第二號様式ニ依リ國有林野存置不要

存置區別表ヲ作り其ノ圖面竝ニ存置國有林野調査及主產物讓與不讓與部分區域圖ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ差出シ存置區別ノ認可ヲ受クヘシ
前項存置國有林野調査書ニハ第九條第二項各號ノ事項ヲ記載スヘシ

處分調査

第十二條 處分調査員ハ調査ノ命ヲ受ケタル存置ヲ要セサル林野ノ面積ヲ實測シ其ノ圖面ヲ調製スヘシ但從前實測濟ノ箇所ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
前項ノ場合ニ於テ境界明瞭ナラサルトキハ鄰接地所有者ヲ立會ハシメ境界ヲ決定シタル上實測ヲ爲スヘシ

第十三條 處分調査員ハ國有林野ノ貸付、產物採取ノ許可共ノ他林野ニ付國ノ負擔スル義務ノ有無ヲ調査シ實地調査ノ際其ノ調査ヲ携帶スヘシ

第十四條 實測ハ携帶圖板、平面板測器共ノ他適宜ノ測器ヲ使用シテ之ヲ爲シ距離ノ測定ハ繩測又ハ步測ノ方法ニ依ルヘシ

第十五條 林野内ニ貸付、產物採取ノ許可共ノ他國ノ負擔スル義務ノ附帶スル箇所アルトキハ實測圖ニ其ノ位置及面積ヲ表示スヘシ

第十六條 面積ノ算定ハ實測圖ニ依リ「プラニメートル」ヲ用ヒ二回ノ計算ヲ平均シテ之ヲ爲スヘシ

第十七條 林野ノ價格ハ其ノ地方ニ於ケル賣買代價ヲ調査シ地味、地形、交通ノ便否、需用者ノ多少等ヲ參酌シテ之ヲ定ムヘシ

第十八條 年期貸付ニ依ル林野ニ付テハ其ノ借地人、貸付ノ年月、貸付年限、借地ノ目的及借地ノ目

的タル事業成功ノ區域面積及事業ノ實況ヲ調査スヘシ

第十九條 處分調査員實地調査ノ際存置區別調査ニ記載セサル國有林野ニシテ存置ヲ要セサルモノアルコトヲ發見シタルトキハ別ニ其ノ調査ヲ爲シ調査書差出ノ際其ノ旨ヲ沖繩縣知事ニ具申スヘシ

第二十條 處分調査員ハ沖繩縣知事ノ定ムル様式ニ從ヒ調査功程表ヲ調製シ毎月一回沖繩縣知事ニ差出スヘシ

第二十一條 處分調査員ハ其ノ調査ヲ終リタル國有林野ニ付沖繩縣知事ノ定ムル様式ニ從ヒ不要存置國有林野處分調査書及實測圖ヲ調製シ之ヲ問切、島毎ニ編綴シ毎月一回沖繩縣知事ニ差出スヘシ

第二十二條 處分調査書ニハ測量ノ方法及調査ノ年月日ヲ記載シ處分調査員之ニ署名捺印スヘシ
處分調査員實測ノ爲野帳ヲ調製シタルトキハ處分調査書ニ之ヲ添附スヘシ

第二十三條 實測圖ハ面積ヲ算定スルコトヲ得ル程度ニ於テ適宜ノ縮尺ヲ用ヒ一箇所毎ニ各別ニ之ヲ調製スヘシ

實測圖及見取圖ニハ方位及調査番號ヲ記載スヘシ

第二十四條 沖繩縣知事ハ第一號様式ニ依リ毎年三月、六月、九月及十二月ノ末日現在處分調査功程報告書ヲ作り翌月中ニ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第二十五條 沖繩縣知事ハ處分調査ヲ終リタルモノニ付第三號様式ニ依リ毎月一回不要存置國有林野處分調査總括表ヲ調製シ農商務大臣ニ差出シ認可ヲ受クヘシ
第一號様式

自明治何年何月 至同何年何月 不要存置國有林野處分調査功程報告
總功程延數

調査員	調査日	調査所	面積	備考
判任	雇	外業	内業	其他
計		面積	備考	

平均一日ノ功程

功程區別	箇	所	面積	備考
外業				
内業				
調査				

右及報告候也

年月日

農商務大臣宛

沖繩縣知事

注意

調査日數欄ニ其ノ他トアルハ旅行、病氣官職ニ出頭又ハ雨天ニシテ内外業ニ從事セザリシ日數ヲ掲記スルモノトス

平均一日ノ功程ノ調査ノ欄ハ内外業及其ノ他ノ他ノ日數ヲ以テ調査箇所面積ヲ除シタル日數ヲ掲記スルモノトス

第二號様式

國有林野存置不要存置區別表
存置

調査番號	所在地名	字名	面積	存置ノ理由
計				

不要存置

調査番號	所在地名	字名	面積	不要存置ノ理由
計				

右存置區別認可相成度候也

年月日

農商務大臣宛

沖繩縣知事

國有林野存置不要存置區別圖ハ一部若ハ一島ノ概圖ニ林野ノ位置ヲ記入シ存置ヲ淡綠色トシ不要存置ヲ淡黄色トシ
ナ其ノ區別ヲ明示スヘシ但シ圖上林野ノ大小ハ凡ソ其ノ面積ノ廣狹ニ比例セシメ字名若ハ調査番號ヲ附記シテ區別
表ト對照スルニ便スルヲ要ス

第三號様式

不要存置國有林野處分調査總括表

調査番號	所在地名	字名	調査面積	農林見積價格	價格算定理由
			一段當リ	總額	

計									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

右實地認可相成度候也

年月日

沖繩縣知事

農商務大臣宛

備考

調査番號ハ同一ノ箇所ニ對シテハ同一ノ番號ヲ附シ國有林野存區不要存區區別表ノ調査番號ト一致セシムルヲ要ス

○統監府訓令第十一號(官報 七月十日)
巡查教習規程左ノ通定ム

明治三十九年七月一日

統監侯爵伊藤博文

巡查教習規程

- 第一條 新ニ任用シタル巡查ニハ職務上必要ナル學科及實務ヲ教習ス
 - 第二條 教習ハ巡查教習所ニ於テ之ヲ行フ但シ實務ハ警察署ニ於テ之ヲ教習スルコトヲ得
 - 第三條 巡查教習所ハ統監府ニ置キ左ノ職員ヲ置ク
 - 一 所長
 - 二 教官
 - 三 助教
- 所長ハ警視ヲ以テ之ニ充ツ警務總長ノ指揮ヲ承ケ所内一切ノ事務ヲ掌理ス
教官ハ警部ヲ以テ之ニ充ツ所長ノ指揮ヲ承ケ教習ヲ擔任ス

助教ハ巡查部長又ハ巡查ヲ以テ之ニ充ツ所長及教官ノ指揮ヲ承ケ教習ヲ補助ス
所長ハ教官ノ中一人ヲ指定シ本務ノ外所内一切ノ庶務ヲ掌ラシムルコトヲ得

第四條 教習ノ科目左ノ如シ

- 一 警察ノ概念及警察法規ノ大意
- 二 服務規律及執務心得
- 三 武術、操練及點檢
- 四 報告書其ノ他公文書例
- 五 外國語

第五條 教習ノ期間ハ三箇月トス但シ警察官タリシ經歷ヲ有シ又ハ學術ノ素養アル者ニ對シテハ教習ノ全部若ハ一部ヲ省略シ又ハ教習ノ期間ヲ短縮スルコトヲ得

第六條 教習ノ終期ニ於テ試験ヲ行フ

試験ハ筆記、口述及實地ノ三種トス
試験ノ成績ハ百點ヲ以テ最高點トシ各科目四十點以上ニシテ平均六十點以上ヲ得タル者ヲ合格トス

第七條 試験ニ合格シタル者ニハ別紙第一號様式ニ依ル證書ヲ授與ス

試験ニ合格セサル者ノ處分ハ警務總長ノ指揮ヲ受クヘシ

第八條 教習中ノ巡查ノ上衣並外套ノ左腕ニハ別紙第二號様式ニ依ル徽章ヲ附ス

第九條 新任巡查ニ非サル者ニ對シテモ必要ト認ムルトキハ本則ニ準シ教習スルコトヲ得

(別紙)

第二號樣式

證

巡査 某

巡査取置所ノ課程ヲ實得シタル
ニトテ置ス

年月日

統 監 府

第二號樣式

發

○統監府訓令第十二號(宣稱七月十日)
統監府鐵道管理局出納官吏及出納員任命規程左ノ通定

統監侯爵伊藤博文

統監府鐵道管理局出納官吏及出納員任命規程

第一條 統監府鐵道管理局ニ左ノ通出納官吏及出納員ヲ置ク

一 總務部ニ主任出納官吏出納員及主任物品會計官吏

二 各驛ニ分任出納官吏分任乘車券類會計官吏及出納員

前記ノ外必要アルトキハ臨時出納官吏及出納員ヲ置クコトヲ得

第二條 各驛ノ驛長ハ分任出納官吏及分任乘車券類會計官吏トス

主任出納官吏及分任出納官吏ニ屬シテ現金出納ノ職務ヲ執ル者ハ總テ出納員トス

第三條 前條ニ依ル者ノ外出納官吏及其ノ代理官ハ統監府鐵道管理局長官特ニ之ヲ命免ス

第四條 分任出納官吏ハ主任出納官吏二名以上ヲ置ク場合ニハ其ノ主管區域ニ從ヒ各當該主任出納官吏ノ所屬トス

分任乘車券類會計官吏ハ主任物品會計官吏ノ所屬トス但シ主任物品會計官吏二名以上ヲ置ク場

合ニハ前項ニ準ス

出納員ハ總テ各勤務所ノ出納官吏ノ所屬トス

第五條 會計規則第百條物品會計規則第十五條第二項但書ノ計算書調製官吏、會計規則第九十二

條及物品會計規則第十三條ノ立會官吏ハ統監府鐵道管理局長官之ヲ命免ス

出納員ニ關スル會計規則第九十二條ノ立會員ハ主管部長又ハ其ノ委任シタル官吏之ヲ命ス

第六條 出納官吏死亡其ノ他ノ事故ニ依リ後任者又ハ代理官若ハ會計規則第九十二條及物品會計規則第十三條立會官吏ノ任命ヲ要スル場合ニ於テ第三條又ハ第五條第一項ニ依ルノ違ナキトキハ主管部長之ヲ命シ其ノ旨統監府鐵道管理局長官ニ報告スヘシ

附 則

第七條 本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○統監府訓令第十三號(官報七月十日)

統監府鐵道管理局分課規程左ノ通定ム

明治三十九年七月一日

統監侯爵伊藤博文

統監府鐵道管理局分課規程

第一條 統監府鐵道管理局各部ニ課ヲ置キ事務ヲ分掌セシム

第二條 總務部ニ左ノ三課ヲ置ク

一 庶務課

二 會計課

三 倉庫課

第三條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌理ス

一 文書ノ收受、發送ニ關スル事項

二 職員ノ進退、賞罰及身分ニ關スル事項

三 統計及報告ニ關スル事項

四 他ノ各部ニ屬セサル事務ニ關スル事項

第四條 會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌理ス

一 歲入歲出豫算決算及下檢査ニ關スル事項

二 歲入歲出ノ出納ニ關スル事項

三 鐵道財産原簿ニ關スル事項

第五條 倉庫課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌理ス

一 物品ノ購買賣却及製作修理ノ計算ニ關スル事項

二 購買製作及修理ノ物品檢査ニ關スル事項

三 物品ノ保管及出納ニ關スル事項

第六條 工務部ニ左ノ三課ヲ置ク

一 監査課

二 保線課

三 工作課

第七條 監査課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌理ス

一 工事ノ設計ニ關スル事項

二 工費豫算ニ關スル事項

三 工事ノ監督ニ關スル事項

第八條 保線課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌理ス

一 線路及建設物ノ保管ニ關スル事項

二 線路及建設物ノ建設改良及修繕ニ關スル事項

第九條 工作課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌理ス

- 一 車輛ノ監査ニ關スル事項
- 二 車輛及器具機械ノ製作修理ニ關スル事項
- 三 工場ノ管理ニ關スル事項

第十條 運輸部ニ左ノ二課ヲ置ク

- 一 營業課
- 二 運輸課

第十一條 營業課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌理ス

- 一 旅客貨物ノ運賃及輸送ニ關スル事項
- 二 運輸收入ノ調査ニ關スル事項

第十二條 運輸課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌理ス

- 一 列車運轉ニ關スル事項
- 二 車輛ノ保管ニ關スル事項
- 三 機關庫ノ管理ニ關スル事項

第十三條 工務部運輸部ニ主記掛ヲ置キ部ノ庶務及他ノ課ニ屬セサル事務ヲ掌理セシム

○統監府訓令第十四號(官報七月二十四日)

當分ノ間統監府令第二十二號執務時間ニ依ラス午前八時ヨリ午後二時迄執務スヘシ

明治三十九年七月十四日

統監侯爵伊藤博文

○統監府訓令第十五號(官報七月二十四日)

居留民團法施行規則實施心得左ノ通定ム

明治三十九年七月十五日

統監侯爵伊藤博文

理事廳

居留民團法施行規則實施心得

第一條 居留民團規則ノ公告式ハ居留民會ニ於テ之ヲ定メシムヘシ

第二條 居留民團ニ非サル團體ニ於テハ民長、居留民會ノ名稱ヲ用井シムヘカラス

第三條 居留民團ノ處務規程ハ民長ヲシテ之ヲ定メシム理事官之ヲ認可スヘシ

第四條 居留民團吏員及居留民會議員ノ給與ニ關スル事項ハ居留民團規則ヲ以テ之ヲ定メシムヘシ

第五條 居留民團ニ於テ吏員ノ退職料、退職給與金、死亡給與金及遺族扶助料ヲ設クルトキハ之ニ

關スル事項ハ居留民團規則ヲ以テ定メシムヘシ

第六條 居留民團ニ於テ居留民團規則ニ依ラスシテ吏員又ハ其ノ退職者ニ對シ賞與、慰勞其ノ他

特別ノ給與ヲ爲サドストキハ理事官ノ認可ヲ受ケシムヘシ

第七條 居留民會議員ノ定數ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ムヘシ

- 一 人口二萬以上ノ居留民團 議員 二十四人
- 二 人口一萬以上ノ居留民團 議員 二十八人
- 三 人口五千以上ノ居留民團 議員 十六人
- 四 人口二千五百以上ノ居留民團 議員 十二人
- 五 人口二千五百未満ノ居留民團 議員 八人

第八條 居留民團法施行規則第三十八條ニ依リ發布スヘキ居留民團規則中ニ規定スル過料ノ額ハ其ノ居留民團稅ニ關スルモノニ在リテハ二十五圓以下トシ其ノ他ノモノニ在リテハ五圓以下ト

第九條 居留民團ノ豫算ハ成ルヘク別紙ノ形式ニ依ラシムヘシ

第十條 居留民團ノ會計検査ハ每會計年度四回定期ニ検査ヲ行ハシメ尙必要アルトキハ臨時検査ヲ行ハシムヘシ

第十一條 居留民團法施行規則ニ規定スル異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ付シ民長ヲ經由シテ之ヲ申立人ニ交付スヘシ

第十二條 理事官ハ居留民團稅、使用料及手数料ノ賦課徵收ニ關スル居留民團規則及第五十一條第二號、第四號、第六號ノ認可ヲ爲サトスルトキハ豫メ統監ニ經伺スヘシ

第十三條 理事官ハ左ニ掲グル認可其ノ他處分ヲ爲シタルトキハ之ヲ統監ニ報告スヘシ

一 助役及會計役ヲ認可シタルトキ

二 議決又ハ選舉ヲ取消シタルトキ

三 居留民會議員ノ定數ヲ定メタルトキ

四 居留民團稅ノ種目及其ノ賦課徵收ノ方法ヲ認可シタルトキ

五 居留民會ノ停會ヲ命ジタルトキ

六 基本財産ノ設置及處分ヲ認可シタルトキ

七 居留民團法施行規則第五十一條ニ依リ認可ヲ爲シタルトキ

第十四條 左ノ事項ハ之ヲ統監ニ報告スヘシ

一 民長助役及會計役ノ退任

二 居留民會議員ノ氏名

三 居留民團ノ決算

第十五條 理事官ハ居留民團吏員ノ服務規律、賠償責任、身元保證及事務引繼ニ關スル規定ヲ設クヘシ

(別紙)

第一號

明治何年度何居留民團歲入出總計豫算

歲入

一金

經常部豫算高

一金

臨時部豫算高

合計金

歲出

一金

經常部豫算高

一金

臨時部豫算高

合計金

第二號

歲入出差引殘金

明治何年度何居留民團歲入出豫算表

歲入

經常部		科目	本年度豫算額	前年度豫算額	増比	較	備考
一	第一款 居留民團稅						
二							
三							
一	第二款 使用料、手数料						
二							
三							
一	第三款 財産、利息、収入						
二							
三							
一	第四款 雜收入						
二							
三							
小計							

臨時部		科目	本年度豫算額	前年度豫算額	増比	較	備考
一	第一款 前年度繰越金						
二	第二款 寄附金						
三	第三款 補助金						
一							
二							
三							
一	第四款 居留民團債						
二							
三							
小計							

明治三十九年七月 訓令 統監府第十五號 居留民團法施行規則實施心得

小計		合計		經常部		
出	入	出	入	科目	本年度豫算額	前年度豫算額
				第一款 役所費		
				一		
				二		
				三		
				第二款 會議費		
				一		
				二		
				三		
				第三款 公園費		
				一		
				二		
				三		
				增		
				減		
				備考		

二二八

小計		合計		經常部		
出	入	出	入	科目	本年度豫算額	前年度豫算額
				第四款 土木費		
				一		
				二		
				三		
				第五款 教育費		
				一		
				二		
				三		
				第六款 勸業費		
				一		
				二		
				三		
				第七款 衛生費		
				一		
				二		
				三		
				第八款 救助費		
				一		
				二		
				三		

明治三十九年七月 訓令 統監府第十五號 居留民團法施行規則實施心得

二一九

科目		本年度豫算額		前年度豫算額		增比	減較	備考
		一	二	三	一			
第一款 役所費	一							
	二							
	三							
第二款 會議費	一							
	二							
	三							
第三款 公園費	一							
	二							
	三							
合計								
小計								

科目		本年度豫算額		前年度豫算額		增比	減較	備考
		一	二	三	一			
第四款 土木費	一							
	二							
	三							
第五款 教育費	一							
	二							
	三							
第六款 勸業費	一							
	二							
	三							
第七款 衛生費	一							
	二							
	三							
第八款 救助費	一							
	二							
	三							

臨時部		
科	目	本年預算額
第九款 警備費	一	
	二	
	三	
第十款 墓地費	一	
	二	
	三	
第十一款 租稅及負擔	一	
	二	
	三	
第十二款 雜支出	一	
	二	
	三	
小計		
第十款 警備費		

臨時部		
科	目	本年預算額
第一款 寄附金	一	
	二	
	三	
第二款 補助金	一	
	二	
	三	
第三款 居留民團債	一	
	二	
	三	
小計		
第一款 寄附金		

○統監府訓令第十六號(官報七月三十一日)
 統監府鐵道管理局
 遞信省公達第三百二十九號帝國鐵道官署會計事務取扱規程同第三百四十號帝國鐵道官署物品出納規程及同第三百四十一號帝國鐵道用品計算事務規程ヲ準用シ本年度ヨリ施行ス但シ各規程ハ別ニ之ヲ頒ツ

明治三十九年七月二十五日

統監侯爵伊藤博文

小計							
合計							

○大藏省訓令第三十六號

警祝廳 北海道廳 府縣 大臣官房會計課 造幣局 印刷局 煙草專賣局 稅關
 稅務監督局 稅務署 樟腦事務局 釀造試驗所 鹽務局 大藏省臨時建築部
 本年^三大藏省訓令第三號明治三十九年度大藏省所管歲入科目表歲入經常部第一款租稅第十一項兌換銀行券發行稅中ニ第二目兌換銀行券制限外發行稅ノ目ヲ追加ス

明治三十九年八月九日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

○大藏省訓令第三十七號

明治三十九年^三大藏省訓令第五號鹽專賣費科目中應費ノ項圖書及印刷費ノ目末位ニ「製本費」ノ節及圖書諸帳簿類ノ裝釘但職工備償ヲ除クノ解疏ヲ加フ

明治三十九年八月二十五日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

○陸軍省訓令丙第十九號

明治三十九年度當省所管歲入歲出科目表中へ左記ノ通増設ス

明治三十九年八月七日

陸軍大臣寺內正毅

款	項	目	節
官有物拂下代	官有物拂下代	官有物拂下代	官有物拂下代
	△建物拂下代		
		△建物拂下代	

○陸軍省訓令丙第二十二號

明治三十九年度當省所管歲入歲出科目表中左記ノ通増設ス

明治三十九年八月十六日

陸軍大臣寺内正毅

歳出經常部

△印増設

款	項	目	節
軍 事 費	俸給及附給	査 _二	
		食	
		與	

陸軍一般

○陸軍省訓令丙第二十三號

明治三十九年度當省所管歲入歲出科目表中へ左記ノ通増設ス

明治三十九年八月二十九日

陸軍大臣寺内正毅

歳出經常部

△印増設

款	項	目	節
軍 事 費	修繕費	査 _二	
		東京灣要塞防禦營	
		廣島灣要塞防禦營	
		函館要塞防禦營	
		物修繕	

陸軍一般

款	項	目	節
		下關要塞防禦營	
		物修繕	
		澎湖島要塞防禦營	
		東宮灣要塞防禦營	
		杭及境界標補修	
		由良要塞地帶標杭	
		及境界標補修	
		下關要塞地帶標杭	
		及境界標補修	
		舞鶴要塞地帶標杭	
		及境界標補修	
		佐世保要塞地帶標杭	
		及境界標補修	
		對馬要塞地帶標杭	
		及境界標補修	
		澎湖島要塞地帶標杭	
		及境界標補修	

○農商務省訓令第三十二號

地方廳ニ於テ取扱フヘキ當省所管經費取扱手續左ノ通相定メ明治三十九年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

警視廳 北海道廳 府縣

明治三十九年八月十四日

農商務大臣松岡康毅

農商務省所管經費取扱手續

第一條 農商務省所管國庫支辨ニ屬スル經費ノ支出ヲ要スルトキハ其ノ都度第一號書式經費請求書ヲ調製シ請求スヘシ但シ三月中ニ請求セムトスルトキハ其ノ月二十日迄ニ提出ヲ要ス

第二條 仕拂命令ハ警視總監 北海道廳長官及府縣知事ニ委任シ仕拂豫算ハ農商務大臣之ヲ令達スヘシ

第三條 仕拂命令官ハ豫算定額内ニ於テ必要ニ依リ目以下ノ金額ヲ流用スルコトヲ得
 第四條 職員其ノ他ノ者ノ公務旅行ノ場合ニ於テハ本官アル者ヲ除クノ外別表ノ旅費額ヲ支給ス
 一 旅費支給方法ハ明治三十年勅令第三百三十三號内國旅費規則ニ據ル

警視總監、北海道廳長官及府縣知事ハ旅費定額ヲ減少シ若ハ其ノ一部ヲ支給セサルコトヲ得其
 ノ之ヲ減少シ若ハ一部ヲ支給セサルトキハ其ノ旨報告スヘシ
 月額若ハ日額旅費ヲ支給シ又ハ特ニ支給方法ヲ設ケムトスルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受ク可
 シ其ノ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第五條 仕拂命令官ハ左ノ書類ヲ調製シ各期日内ニ提出ス可シ

一 經費現計表(第二號)

翌年度四月十五日限リ

一 繰越計算書(第三號)

翌年度四月十五日限リ

一 豫備金支出計算書(第四號)

翌年度七月三十一日限リ

一 決算報告書(第五號)

翌年度八月三十一日限リ

第六條 農商務省所管物品ノ出納ハ其ノ廳所管ノ物品ト同一ニ取扱フヘシ

(甲號) (別表)

汽車賃	二付	船賃	二付	車馬賃	二付	宿泊料	二付	日當	二付	食料	二付
逓査雇員	金三錢	金三錢	金三錢	金十錢	金七十錢	金三十錢	金三十錢	金三十錢	金五十錢		

(乙號)

汽車	賃	二付	船	賃	二付	日	當	二付	食	料	二付
小者	金	二錢	金	二錢	金	三十	金	三十	金	三十	錢

但シ車馬賃ノ支給ヲ要スルトキハ甲號表ノ額ニ據ル

備考

- 一 試補、技師、試補、僱外國人、華族、從六位、勳六等以上内國旅費規則ノ三等旅費ヲ支給ス
- 一 判任見習正七位、勳七等以下内國旅費規則ノ四等旅費ヲ支給ス
- 一 前二項以外ノ者ニハ甲號表ノ旅費ヲ支給ス

(第一號書式)

明治何年度何々費請求書

應 名

科目	豫算額	前年度繰越額	流用増減額	現豫算額	仕拂命令済額	差引殘額	經費請求額
何々(款)							
何々(項)							
何々(目)							

事由

備考

- 一 本請求書ハ款毎ニ調製スルモノトス
- 一 流用増減額欄中流用減額ハ赤字スルモノトス以下之ニ依フ
- 一 事由ハ豫算要求ノ原因並計算ノ基ク處ヲ詳記スルモノトス但シ計算ノ縦軸ナルモノハ別ニ内附書ヲ添附スヘシ

(第二號書式)

明治何年度經費何年三月三十一日現計表

廳名

科目	預算額	繰前年度	現豫算額	三月迄止額		四月迄止額		仕拂命令	繰見込額	不用額
				命令額	見込額	命令額	見込額			
何々(款)										
何々(款)										
何々(款)										

備考

(第三號書式)

明治何年度
經費繰越計算書

廳名

備考
 一 三月迄仕拂命令済額ノ欄ニハ三月三十一日迄ノ仕拂命令済額ヲ記載スルモノトス但シ定額戻入ノ金額ハ控除ス
 一 四月以降仕拂命令見込額ノ欄ニハ四月一日ヨリ五月三十一日迄仕拂命令ヲ發スヘキ見込額ヲ記載スルモノトス
 一 但シ定額戻入ノ見込額アルモノハ其ノ金額ヲ未済スルモノトス
 一 仕拂命令合計ノ欄ニハ仕拂命令済額・仕拂見込額ヲ合セ定額戻入ノ未済金額ヲ控除シテ記載スルモノトス
 一 翌年度繰越見込額ノ欄ニハ翌年度ヘ繰越スヘキ見込額ヲ記載スルモノトス

科目	摘要				翌年度へ繰越額		事由
	現額	豫算	仕拂命令済額	仕拂命令未済額	繰越額	繰越額	
何々(款)							何々ノ為會計法第何條ニヨリ繰越ヲ要ス 何々
何々(項)							
何々(目)							
何々(目)							
計							

明治何年度經費書面ノ通繰越ヲ要シ候也
 年 月 日
 何廳何府縣 官氏名 印
 農商務大臣宛

備考

一 仕拂命令済額ノ欄ニハ三月三十一日迄ニ仕拂命令済ノ金額ヲ記入スルモノトス
 一 仕拂命令未済額ノ欄ニハ三月三十一日迄ニ債務確定シ翌年度五月三十一日迄ニ仕拂命令ヲ發スヘキ金額ヲ記入スルモノトス

一年度内仕拂命令済額ノ内五月三十一日迄ニ定額戻入ヲ要スルモノアルトキハ仕拂命令済額ノ額ニ其ノ金額ヲ米
 計シテ繰越額ヲ算定スルモノトス
 一 奉山ノ額ニ小翌年度へ繰越ヲ要スル奉山ヲ詳記スルモノトス
 一 二項以上ナルトキハ款ノ合計ヲ附スルモノトス

(第四號書式)

明治何年度豫備金支出計算書

第一豫備金支出

廳名

款	項	目	豫算額	繰越額	増減額	補充額	合計額	仕拂命令済額	合計額ヨリ仕拂命令済額ノ差額
何々	給及給	退官賜金							

說明

退官者多キ爲委任俸給ヨリ金何圓ヲ判任俸給ヨリ金何圓ヲ流用増額シタルモ尙豫算ニ不足ヲ生セシヲ以テ左記
 ノ通農商務大臣ノ認可ヲ得テ支出セリ
 一金何圓 何年何月何日第何號ヲ以テ請求何年何月何日第何號指令
 一金何圓 何年何月何日第何號ヲ以テ請求何年何月何日第何號指令

款	項	目	豫算額	繰越額	増減額	補充額	合計額	仕拂命令済額	合計額ヨリ仕拂命令済額ノ差額
何々	賠償及訴	訴訟費							

說明

何々ノ事件ニ關シ官吏裁判所へ出張旅費并辯護士謝金ヲ要スルモノ多ク豫算ニ不足ヲ生セシヲ以テ何年何月何
 日第何號ヲ以テ豫備金支出方ヲ請求シ何年何月何日第何號ヲ以テ農商務大臣ノ指令ヲ得タルモノナリ

第二豫備金支出

款	項	目	豫算額	繰越額	増減額	補充額	合計額	仕拂命令済額	合計額ヨリ仕拂命令済額ノ差額
何々	何々	何々							

(第五號書式)

明治何年度經費決算報告書

廳名

科目	豫算額	前年度繰越額	流用増減額	現行額	仕拂命令済額	翌年度繰越額	不用額	備考
何々(款)								項ニ於テ不用額ヲ生シタルモノハ 山ノ額ニ計シテ繰越額ニ計スルモノトス
何々(項)								不用額ヲ生セシハ云々ニ由ル
何々(目)								流用増減額ハ第何目ノ何目ニ由ル
何々(目)								同上

說明

何々ノ事由ニ因リ何年何月何日第何號ヲ以テ豫備金支出方ヲ請求シ何年何月何日第何號ヲ以テ農商務大臣ノ指
 令ヲ得タルモノナリ

備考

一 國庫剩餘金ノ支出アリタルトキハ第二豫備金支出額ノ欄下ニ國庫剩餘金支出額ノ一欄ヲ設ケ記載スルモノトス

備考

一 豫算額ノ欄ニハ豫算定額第二豫備金其ノ他臨時支出額ヲ併セ記載スルモノトス

○農商務省訓令第三十三號

明治三十二年四月農商務省訓令第二十二號國有林野處分調査規程中左ノ通改正ス

明治三十九年八月二十五日

農商務大臣松岡康毅

大林區署

第五十一條 大林區署長ハ適當ト認ムル部下ノ職員ヲ以テ處分調査監督員ト爲シ隨時處分調査ノ監督ヲ行ハシムヘシ

〔參照〕

農商務省訓令第二十二號國有林野處分調査規程(明治三十二年四月二十二日)抄録
第五十一條 大林區署長ハ林務官又ハ山林局監督官ヲ以テ處分調査監督員ト爲シ隨時處分調査ノ監督ヲ行ハシムヘシ但シ林務官補又ハ山林局書記ヲ以テ處分調査監督員心得ト爲シ監督ヲ行ハシムルコトヲ得
前項監督ニ關スル規定ハ大林區署長之ヲ定メ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

○統監府訓令第十七號(官報八月六日)
居留民團ニ關スル名稱左ノ通定ム

明治三十九年七月二十九日

統監侯爵伊藤博文

理事廳

何何(地名)居留民團

何何(地名)居留民團會計役

何何(地名)居留民團役所

何何(地名)居留民團書記

何何(地名)居留民團民長

何何(地名)居留民會

何何(地名)居留民團助役

何何(地名)居留民會議員

○統監府訓令第十八號(官報八月十一日)

統監府理事廳

統監府及理事廳巡查部長選任規程左ノ通定ム

明治三十九年八月五日

統監侯爵伊藤博文

第一條 統監府及理事廳巡查部長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル巡查ヨリ之ヲ選任ス

一 文官任用令第三條ニ依リ判任文官タル資格ヲ有スル者

二 警部又ハ巡查部長タリシ者

三 一箇年以上在職ノ巡查ニシテ試験ニ合格シタル者

第二條 試験ハ理事官ノ推薦シタル巡查ニ就キ之ヲ行フ

第三條 試験委員ハ統監府警視及警部ヲ以テ之ヲ組織ス

第四條 試験ハ左ノ科目ニ依リ之ヲ行フ

一 行政法ノ大意

二 刑法及刑事訴訟法ノ大意

三 行政警察ニ關スル諸法規ノ大意

第五條 試験ハ試験委員ニ於テ定メタル問題ニ依リ理事官ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得但シ答案ノ檢定ハ此ノ限ニ在ラス

○統監府訓令第十九號(官報八月十五日)

統監府法務院分課規程左ノ通定ム

明治三十九年八月十日

統監侯爵伊藤博文

統監府法務院分課規程

第一條 統監府法務院ニ庶務課 刑事課 民事課 圖書課及檢務課ヲ置ク

第二條 庶務課ハ院長ニ附屬シ左ノ事務ヲ管掌ス

一 機密文書暗號電報其ノ他文書ノ發受及配付等ノ事項

二 職員ノ進退及身分ニ關スル事項

三 辯護士及辯護事務ニ從事スル者ノ監督ニ關スル事項

四 金錢出納及物品會計ニ關スル事項

- 五 製表報告及官報掲載ニ關スル事項
- 六 他課ノ主管ニ屬セサル事項
- 第三條 刑事課ハ評定官ヲ以テ課長ト爲シ左ノ事務ヲ管掌ス
 - 一 刑事ニ關スル事項
 - 二 韓國刑事上ノ調査事項
- 第四條 民事課ハ評定官ヲ以テ課長ト爲シ左ノ事務ヲ管掌ス
 - 一 民事、商事及非訟事件ニ關スル事項
 - 二 韓國民事、商事及非訟事件ニ關スル調査事項
- 第五條 圖書課ハ評定官ヲ以テ課長ト爲シ左ノ事務ヲ管掌ス
 - 一 内外圖書記録ノ保管及整理ニ關スル事項
 - 二 翻譯ニ關スル事項
 - 三 記録ノ閱覽及謄寫ノ監督ニ關スル事項
- 第六條 檢務課ハ檢察官ヲ以テ課長ト爲シ左ノ事務ヲ管掌ス
 - 一 檢察事務ニ關スル事項
 - 二 司法警察ニ關スル事項
 - 三 監獄ニ關スル事項
 - 四 出獄人保護ニ關スル事項
 - 五 韓國ノ檢察、監獄及司法警察事務ニ關スル調査事項
 - 六 當課ニ屬スル製表報告等ノ事項
- 第七條 各課長ハ其ノ主管事務ヲ指揮監督シ書冊ノ整理、執務ノ順序方法ヲ指示シ及課員ノ勸怠ヲ觀察スヘシ

○大藏省訓令第三十八號

警視廳 北海道廳 府 縣 大臣官房會計課 造幣局
印刷局 煙草專賣局 稅 關 稅務監督局 稅務署
樟腦事務局 釀造試驗所 鹽務局 大藏省臨時建築部

明治三十九年三月大藏省訓令第三號明治三十九年度大藏省所管歲入科目表歲入經常部第四款雜收入第五項雜入中ニ第十二目臺灣銀行配當金ノ目ヲ設置ス

明治三十九年九月五日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

鹽務局

○大藏省訓令第三十九號

鹽ノ生産高ヲ制限スルノ必要有之爾今鹽製造ノ許可ヲ出願シタル者アル場合ニ於テハ當分ノ内之ヲ許可セサル儀ト心得ヘシ

明治三十九年九月六日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

○大藏省訓令第四十號

明治二十五年四月大藏省訓令第十八號ヲ左ノ通改正ス

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

賣藥營業免許鑑札料トシテ收入印紙ヲ貼付シタル書類ヲ收受シタルトキハ其ノ許可スヘキモノナルコト決定シタル後當該主任者ニ於テ書類ノ紙面ト貼付印紙ノ彩紋トニ掛ケ黒肉ヲ用非テ消印ヲ押捺スヘシ

前項ノ收入印紙ヲ貼付スヘキ書類ハ少クモ毎月一回上司ニ於テ之ヲ檢閲シ貼付印紙ノ當否及ヒ消印ノ有無ヲ調査スヘシ

○大藏省訓令第四十一號

鹽回送賣渡事務取扱手續左ノ道相定メ明治三十九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年九月十五日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

鹽務局

鹽回送賣渡事務取扱手續

第一章 回送賣渡

第一條 本則ニ依リ鹽回送ノ手續ヲ爲スハ各鹽務局間又ハ一鹽務局管内ノ出張所間ニ限ルモノトス

第二條 鹽ノ回送賣渡ヲ請求スル者アルトキハ第一號書式甲ノ鹽回送申請書ヲ提出セシメ同號書式乙ニ依リ鹽產地鹽務局ニ鹽回送ノ問合ヲ爲スヘシ

第三條 前條ノ問合アリタルトキハ鹽產地鹽務局ハ其ノ要件ヲ鹽回送請負人ニ示シ回送費見積書ヲ提出セシムヘシ

第四條 前項ノ見積ヲ適當ト認メタルトキハ第一號書式丙ノ鹽回送回答書ヲ送付スヘシ

第五條 回送賣渡請求者ニ於テ前項ノ通知ニ對シ異議ナキトキハ鹽務局事務取扱手續第十一號書式ニ準シタル鹽回送賣渡請求書ヲ提出セシメ鹽賣渡代金及回送費ノ納付又ハ擔保ノ提供ヲ爲サシムヘシ

第六條 前條ノ請求アリタルトキハ鹽產地鹽務局ハ第十二條ニ依リ鹽回送ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 回送鹽到着シタルトキハ回送賣渡請求者ニ引渡スヘキ日時及場所ヲ通知シテ其ノ引渡ヲ爲スヘシ

第二章 回送

第八條 鹽ノ回送ニ付テハ鹽務局長ハ豫メ請負人ヲ指定シ其ノ回送ヲ要スル都度之ヲ回送請負人ニ引渡スヘシ

第九條 回送請負人ハ左ノ各號ノ資格ヲ有シ且鹽務局長ニ於テ適當ト認ムル保證人ヲ立ツルコトヲ要ス

一 直接國稅貳拾圓以上ヲ納ムル者

二 運送業又ハ鹽ノ販賣業ニ三箇年以上従事シタル者

第十條 鹽務局長ハ回送請負人ヲ指定セムトスルトキハ第三號書式甲ノ鹽回送請負命令書ヲ交付シ同號書式乙ノ請書ヲ提出セシメ其ノ際本ト共ニ之ヲ大藏省ニ報告スヘシ其ノ請負命令ヲ變更又ハ取消シタルトキ亦同シ

第十一條 回送請負人ニ鹽ヲ引渡ストキ及回送請負人ヨリ鹽ノ引渡ヲ受クルトキハ主任官吏立會スヘシ

第十二條 鹽ヲ回送ヲ爲サムトスルトキハ第四號書式甲ノ鹽回送拂出票ヲ作成シ同號書式乙ノ鹽回送命令書ヲ回送請負人ニ交付シテ鹽ノ引渡ヲ爲スヘシ

鹽ヲ回送請負人ニ引渡シタルトキハ請負人ヲシテ同號書式甲ノ領收欄ニ捺印セシメ同號書式丙ノ鹽回送案内書ヲ回送先鹽務局ニ送付スヘシ

第十三條 回送請負人回送鹽到着ノ旨申出タルトキハ回送先鹽務局ハ回送請負人立會ノ上鹽回送案内書ニ照査シテ現品ノ調査ヲ爲シタル後第五號書式甲ノ鹽回送受入票ヲ作成シ其ノ受入ヲ爲スヘシ但シ回送鹽ノ亡失損傷等異狀アリタルトキハ回送請負人ノ證明書ヲ徹スヘシ
回送鹽ノ受入ヲ爲シタルトキハ回送先鹽務局ハ回送請負人ヨリ提出シタル鹽回送命令書領收欄ニ捺印シ且同號書式乙ノ鹽回送受入通知書ヲ回送元鹽務局ニ送付スヘシ

第三章 帳簿及報告

第十四條 鹽務局ハ第六號書式ニ依リ鹽回送整理簿ヲ調製スヘシ
第十五條 回送元鹽務局ハ鹽ヲ回送請負人ニ引渡シタルトキハ鹽回送整理簿ニ之ヲ記入シ鹽回送受入通知書ヲ受領シタルトキハ更ニ同簿ノ整理ヲ爲シ且鹽務局事務取扱手續第五十七條ノ鹽出納簿ニ拂出ノ登記ヲ爲シ回送先鹽務局ニ於テ受入ヲ爲シタル日ヲ摘要欄ニ附記スヘシ
第十六條 回送先鹽務局ハ鹽回送案内書ヲ受領シタルトキハ鹽回送整理簿ニ之ヲ記入シ現品ノ引渡ヲ受ケタルトキハ更ニ同簿ノ整理ヲ爲シ且鹽出納簿ニ受入ノ登記ヲ爲スヘシ
第十七條 回送鹽ニ關スル受拂ハ日計箋ニ依リ鹽務局事務取扱手續第六十三條ノ鹽受拂整理簿ニ之ヲ記入スヘシ但シ其ノ回送鹽ナルコトヲ明記スヘシ
第十八條 左ノ各號ノ書類ニハ各別ニ日計箋ヲ添附スヘシ

- 一 鹽回送拂出票
- 二 鹽回送受入票
- 三 鹽回送賣渡請求書

鹽回送拂出票ノ日計箋ハ鹽回送受入通知書ヲ受領シタル日ヲ以テ回送受回送減及回送亡失トニ

區別シテ之ヲ整理スヘシ

鹽回送受入票ノ日計箋ハ現品ノ引渡ヲ受ケタル日ヲ以テ之ヲ整理スヘシ
鹽回送賣渡請求書ノ日計箋ハ回送鹽ヲ回送賣渡請求者ニ引渡シタル日ヲ以テ之ヲ整理スヘシ
第十九條 鹽務局ハ毎月末及毎年度末ニ於テ鹽回送整理簿ニ依リ第七號書式ノ鹽回送報告表ヲ作成シ翌月十五日限り之ヲ大藏省ニ報告スヘシ

附則

第二十條 鹽回送賣渡ニ關シ本則ニ規定ナキモノニ付テハ鹽務局事務取扱手續ニ依ルヘシ
第一號書式

要 摘	事 項	申 請	同 送 先	到 達 期 限	鹽 産 地	申 請 所 調 査 人 氏 名	第 一 號 書 式	鹽 回 送 申 請 書	申 請 年 月 日
		等 級							

局長 調 査 問合年月日

備考 本書式乙號發送ノ際甲丙兩號共同番號ヲ付シ置クモノトス

第 號		鹽 同 送 問 合 書	
鹽 産 地		到 送 期 限	
問 合 等 級	包 裝 數	一 包 裝 數 量	全 數 量
要 摘			
年 月 日			
鹽 務 局 長 宛			
局 長 調 査	問 答 年 月 日	鹽 務 局 長	
第 號		鹽 同 送 回 答 書	
鹽 産 地			

第二號書式

第 號		鹽 同 送 請 求 書	
鹽 産 地		到 送 期 限	
問 答 等 級	包 裝 數	一 包 裝 數 量	全 數 量
要 摘			
年 月 日			
鹽 務 局 長 宛			
局 長 調 査	問 答 年 月 日	鹽 務 局 長	
第 號		鹽 同 送 回 答 書	
鹽 産 地			

備考 問合ト異ナリタル回答ヲ爲スノ要アルトキハ便宜問合掛各欄餘白ニ回答事項ヲ
ス米書シ置クモノト

局長 調 査 一 年 月 日

第 號 鹽回送請求書 鹽回送問合書 年月日番號

鹽產地	到送期限	回送先	等級	包裝數	一包裝數	全數量	百斤當照 價價格	全照價價格	百斤當 回送費	全回送費

年月日 鹽務局長 宛 鹽務局長

第三號書式

(甲) 鹽回送請負命令書

住所 氏 名(又は名稱)

鹽務局ニ於テ何某ニ對シ鹽ノ回送ヲ命シタルトキハ何某ハ鹽回送渡事務取扱手續其ノ他鹽回送ニ關スル規定ノ外左ノ各項ヲ遵守スヘシ

一 鹽回送ノ命令ヲ受ケタルトキハ指定ノ日時及場所ニ受取人ヲ出シテ現品ヲ受取り到送期限内ニ可成速カニ到送場所ニ送達スヘシ但シ到送場所ニ送達スルニ當リ代

- 二 運送中ニ要スル日鹽又ハ兩具等ハ鹽務局ノ指定ニ從ヒ該メ設備シ運送品ハ充分ノ注意ヲ以テ郵重ニ取扱フヘシ
- 三 鹽ノ運送中ハ必ス鹽回送命令書ヲ携帶シ當該官吏ノ要求アルトキハ何時ニテモ之ヲ開示スヘシ
- 四 鹽ヲ到送場所ニ送達シタルトキハ直ニ現品ト共ニ鹽回送命令書ヲ回送先鹽務局ニ提出スヘシ
- 五 鹽受取後回送先鹽務局ヘ引渡ヲ了スル迄ノ間ニ於テ生シタル鹽ノ白失損傷等ノ損害ハ不可抗力ニ因ルモノ又ハ鹽ノ運送ニ因リ通常生スヘキモノノ外第三者ノ故意又ハ過失ニ因ル場合ト雖一切其ノ責任鹽務局ノ指圖ニ從ヒ直ニ損害ノ全部ヲ辨償スヘシ若シ何某ニ於テ損害ノ一部又ハ全部ヲ辨償セザルトキハ保人ハ何時ニテモ本人ニ代リテ之ヲ辨償スヘシ
- 六 前項ノ場合ニ於テ亡失シタル鹽ニ對シテハ何某ハ其ノ回送貨ヲ請求スルコトヲ得ス不可抗力ノ場合ニ於テモ亦同シ
- 七 回送貨ハ回送ノ度毎ニ豫メ提出スル回送費見積書以內ノ金額ニテ引受ケ何等ノ事故アルトモ決シテ増額等ヲ請求スルコトヲ得ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ
 - 一 汽車汽船ノ通路ニ故障ヲ生シ又ハ通路破損等ニ依リ迂回ヲ要スルトキ
 - 二 特ニ速達ヲ要スルトキ
- 八 何某ニ於テ鹽回送請負命令ノ取消ヲ申請セムトスルトキハ二箇月前ニ申出テ鹽務局ノ認可ヲ受ケヘシ
- 九 鹽務局ニ於テ二箇月以前ニ何某ニ對シテ請負命令取消ノ預告ヲ爲シタルトキ又ハ何某カ本命令ニ違背シ又ハ不正不當ノ行爲アリト認ムルトキハ鹽務局ハ本命令ヲ取消スコトアルヘシ

鹽務局長 國

年月日

第四號書式

(乙)

鹽回送請負命令請書

以下命令書本文同様
右圖字御酬換也

年月日

請負人 住 所 氏 名

保置人 住 所 氏 名

鹽務局長殿

明治 年 月 日

(甲)

第一鹽回送拂出票

要 請	鹽回送受入通知書年月日番號	到送場所	等級	包裝數	全數量		引渡場所	及領收年月日		明治年 月 日	領收
					百斤當贈	全照價價格		同送	氏名		

(乙)

鹽回送命令書

局長 長 〇 〇 〇 號 拂出命令 明治何年何月何日鹽出納渡登記簿 鹽會計官吏 〇

何 〇 鹽務局 印

第 〇 號	回送先局	到送期限	到送場所	等級	包裝數			引渡場所	引渡年月日	同送人姓名	同送人住所	全照價價格	同送費	全同送費	摘要
					包裝數	一包數	全數								

(丙)

鹽回送案內書

第 〇 號	鹽回送請負書年月日番號	同送請負人住所氏名	引渡年月日	引渡場所

明治三十九年九月 訓令 大藏省第四十二號 鹽回送賣渡事務取扱手續

二四七

第五號書式

要 摘		年 月 日
等 級	包 裝 數	一 包 裝 數 量
		全 數 量
		百 斤 當 贈 價 格
		全 贈 價 格
		百 斤 當 同 送 費
		全 同 送 費
鹽 務 局 長 宛		
鹽 務 局 長 圖		

(甲)

第 號	鹽回送受入票	明治何年何月何日
同送贈與人住所氏名		
同送元局		
領收年月日		
領收場所		
等 級	包 裝 數	一 包 裝 數 量
		全 數 量
		百 斤 當 贈 價 格
		全 贈 價 格
		百 斤 當 同 送 費
		全 同 送 費

(乙)

局 長	鹽受入命令	明治何年何月何日	鹽出納簿登記済	鹽會計官吏
第 號	鹽回送受入通知書			
鹽回送案内詳年月日番號	領收年月日	領收場所	同送贈與人住所氏名	
等 級	包 裝 數	一 包 裝 數 量	全 數 量	百 斤 當 贈 價 格
				全 贈 價 格
				百 斤 當 同 送 費
				全 同 送 費
要 摘				
年 月 日				
鹽務局鹽會計官吏 官氏名宛				
鹽務局鹽會計官吏 官氏名圖				

明治三十九年九月 訓令 大藏省第四十一號 鹽回送受渡事務取扱手續

同送先局 受入未済高 數量 賠償價格	備考	年月日	同送案内 又ハ同送受 入票番號	等級	案内高	
					數量	賠償價格
10,000 110,000		10-10	同送案内 第一號	2	10-5	4,000 52,000
15,000 165,000		n-12	同送受入 第一號	2		
5,000 50,000						
0 0						

第六號書式 (鹽回送整理簿)

明治三十九年九月 訓令 大藏省第四十一號 鹽回送受渡事務取扱手續

受入高		同減額		同送費	受入高		備考
數量	賠償價格	數量	賠償價格		數量	賠償價格	
						4,000 52,000	
10-12	3,500 45,500	500	0,500	8,000		0 0	

部 出 ノ 拂

等級	發送高		回送先局高		回減耗送高		回送費
	發送年月日	數量 斤	賠償價格 圓	受入年月日	數量 斤	賠償價格 圓	
4	10-1	10,000	110,000				
5	"-5	5,000	50,000				
4				10-3	10,000	110,000	20,000
5				"-8	4,500	45,000	,500 5,000 10,000

第七號書式 (鹽回送報告表)

年月日	拂出票又ハ 回送受入通 知書番號
10-1	拂出 票號 第 一 號
"-5	拂出 票號 第 三 號
"-"	回送受入通 知書第 二 號
"-10	回送受入通 知書第 三 號

備考
一 本簿ハ鹽務局毎ニ口座ヲ設ケ末尾ニ合計ヲ付スルモノトス
二 回送中ニ亡失シタル鹽ノ數量ハ回送減耗高欄ニ記入シ且其ノ旨ヲ備考ニ記入ス
ルモノトス

回送減耗高		回送費	受入未済高		備 考
數量 斤	賠償價格 圓		數量 斤	賠償價格 圓	

精 製	高 送		高 入	
	数量	贈價格	数量	贈價格
受入ノ部				
何 務 局 日				
何 等 製				
何 務 局 日				
何 等 製				
計				
抽出ノ部				
何 務 局 日				
何 等 製				
何 等 製				
計				

林區署

○農商務省勅令第三十四號

製材職工定夫規則左ノ通定ム

明治三十九年九月二十八日

農商務大臣松岡康毅

製材職工定夫規則

第一章 總則

第一條 林區署製材工場ノ職工定夫ニ關スル事項ハ本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條 大林區署長ハ豫算定額ノ範圍内ニ於テ職工ノ定員ヲ定メ農商務大臣ニ報告スヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

前項定員ノ外豫算定額ノ範圍内ニ於テ見習工又ハ臨時雇工ヲ置クコトヲ得

定夫ハ豫算定額ノ範圍内ニ於テ大林區署長任意之ヲ使用スルコトヲ得

第三條 職工(見習工及臨時雇工)定夫ノ進退賞罰ハ大林區署長之ヲ行フ

第四條 職工定夫ノ使役ニ付テハ規律ヲ嚴ニシ苟クモ怠惰偷安ノ惡習ヲ生セシムヘカラス

第二章 採用及罷免

第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ職工定夫ニ採用スルコトヲ得ス

一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

二 不具又ハ身體虛弱ニシテ業務ニ堪ヘ難キ者

三 感染性ノ疾患アル者

四 林區署ニ於テ懲戒解職ニ處セラレ滿二箇年ヲ經過セサル者

五 性行不良ナル者

六 十四年未滿ノ者

第六條 職工ハ試験ノ上之ヲ採用ス

前項ノ試験ハ三日以上入場ヲ命ジ志願者ノ技能及體力ヲ試験スヘシ

豫メ技能ヲ認メ得ヘキ者及見習工タル者ハ試験ヲ經スシテ直チニ採用スルコトヲ得

第七條 職工定夫ニ採用スヘキモノト認メタルトキハ書式ニ據ル本人及身元引受人連署ノ證書

及戸籍抄本ヲ徴スヘシ

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ職工定夫ノ身元引受人タルコトヲ得ス

一 第五條第一號第四號又ハ第五號ニ該當スル者

二 丁年未滿ノ者

- 三 家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者
- 四 身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨濟ヲ了セサル者
- 五 禁治産者准禁治産者
- 六 獨立ノ生計ヲ營マサル者
- 七 當該大林區署ノ管轄區域外ニ住所ヲ有スル者
- 第九條 身元引受人前條ニ該當スルニ至リタルトキハ職工、定夫ハ更ニ身元引受人ヲ定メ第七條ノ證書及其ノ身元引受人ノ戸籍抄本ヲ差出スヘキモノトス
- 第十條 前五條ノ規定ハ臨時雇工ニ適用セサルコトヲ得
- 第十一條 職工、定夫ハ左ノ場合ニ於テハ之ヲ解職スヘシ但シ第一號又ハ第二號ノ場合ニ於テ特ニ勤績セシムルノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス
 - 一 疾病ニ罹リ引續キ六十日以上執業セサルトキ但シ職務ニ原因スルモノヲ除ク
 - 二 自己ノ都合ニ依リ三十日以上執業セサルトキ
 - 三 身體虛弱老衰其ノ他業務ニ堪ヘサルトキ又ハ執業上望ミナキトキ
 - 四 第五條第一號、第二號、第三號又ハ第五號ニ該當スルニ至リタルトキ
 - 五 職時事變ノ爲召集セラレタルトキ
 - 六 事業上ノ都合ニ因リ必要ナキトキ
 - 七 解職ヲ求メタル場合ニ於テ已ムヲ得サル事由アリト認メタルトキ
- 第十二條 大林區署長職工、定夫ヲ解職シタル場合ニ於テハ其ノ請求ニ因リ雇傭ノ期間、業務ノ種類、技能、勤怠、賞金及解職ノ事由ヲ記載シタル證明書ヲ付與スヘシ

第三章 服務

- 第十三條 作業時間ハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ大林區署長之ヲ定ム但シ食事又ハ休憩時間ハ一日ヲ通シ一時間以上二時間以内トシ作業時間中ニ算入ス
- 十六年未滿ノ職工、定夫ノ就業時間ハ一時間以内之ヲ縮少スルコトヲ得
- 第十四條 業務上必要ナル場合ニ於テハ作業時間ヲ伸縮スルコトヲ得
- 婦女又ハ十六年未滿ノ者ハ夜業ニ從事セシムヘカラス
- 第十五條 油差ハ定刻ヨリ一時間、火夫ハ定刻ヨリ二時三十分間早出ヲ爲スヘキモノトス但シ必要ニ應シ之ヲ伸縮スルコトヲ妨ケス
- 第十六條 職工、定夫ハ起業前作業ノ準備ヲ爲シ止業後後片付或掃除ヲ爲シタル後退場スヘキモノトス
- 前項ノ外諸器械ノ拭掃除ニ付テハ大林區署長ニ於テ適宜ソ方法ヲ定メ之ヲ行ハシムヘシ
- 第十七條 職工、定夫交代ノ場合ニ於テハ交代者ニ其ノ業務ヲ引繼キタル後ニ非サレハ退場スルコトヲ得ス
- 第十八條 職工、定夫ハ就業時間中ハ係官又ハ取締ノ許可ナクシテ作業ヲ中止シ又ハ受持工場ヲ離ルハコトヲ得ス
- 第十九條 職工、定夫ハ係官ヨリ命セラレタル業務ノ外他ノ業務ヲ執ルコトヲ得ス
- 第二十條 職工、定夫就業中ハ他人ニ面會スルコトヲ得ス若シ已ムヲ得サル事故アルトキハ係官又ハ取締ノ許可ヲ受クヘキモノトス
- 第二十一條 職工、定夫ニシテ出勤後病氣其ノ他ノ事故ニ依リ早引若ハ外出セムトスルトキハ係

官ノ許可ヲ受クヘキモノトス

第二十二條 職工定夫出勤時刻ニ後レ入場セムトスルトキハ係官ノ許可ヲ受クヘキモノトス
第二十三條 職工定夫病氣、忌引其ノ他已ムヲ得サル事故ニヨリ出勤シ難キ場合ニ於テハ當日午前
中ニ其ノ旨ヲ届出ツヘキモノトス其ノ自己ノ便宜ニ因ルモノニ在リテハ急迫ノ事由アルモノノ
外豫メ許可ヲ受クヘキモノトス

疾病ノ爲メ缺勤七日ヲ超ユルトキハ醫師(醫師ニ限ル以下之ニ同シ)ノ診断書ヲ差出サシムヘシ
後二十日ニ及フ毎ニ之ニ同シ

第二十四條 職工定夫忌引中ノ者ト雖トモ業務ノ都合ニ依リ除服出勤ヲ命スルコトアルヘシ
第二十五條 職工定夫ハ製材場又ハ其ノ附近ニ災害若ハ不慮ノ事變アル場合ニ於テハ係官ノ指
揮ヲ受ケ警戒及防禦ニ従事スヘキモノトス

前項ノ災害、事變ニレテ退場後ニ起レル場合ハ速ニ駈付係官ノ指揮ニ從ヒ警戒及防禦ニ従事ス
ヘキモノトス

第二十六條 大林區署長ハ災害、事變ニ備フル爲職工定夫ニ災害防禦ニ關シ必要ナル事項ヲ告示
シ消防器具ノ使用ハ時々之ヲ演習セシムヘシ

大林區署長ハ必要ニ應シ職工定夫中ニ消防組織ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ農商務
大臣ニ報告スヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第二十七條 職工定夫ハ建築物又ハ器械類等ニ異狀アルコトヲ發見シタルトキハ直ニ係官ニ其
ノ旨ヲ申告スヘキモノトス

第二十八條 職工定夫ハ常ニ其ノ使用スル器具、機械等ノ取扱保存ニ注意シ且紛亂セシムヘカラ

ス

第二十九條 職工定夫ハ器具、機械其ノ他ノ物品ヲ亡失毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ係官ニ
申告スヘキモノトス

故意又ハ過失ニ因リ器具、機械其ノ他ノ物品ヲ亡失、毀損シタルトキハ其ノ損害ヲ補償スヘキモ
ノトス

第三十條 職工定夫自己専用ノ工具ハ止業ノ際自ラ點查シ指定ノ場所ニ之ヲ納置スヘキモノ
トス

共用ノ工具ハ共用者中主席職工定夫ニ於テ前項ニ準シ保管スヘキモノトス
他人ノ保管スル工具ハ其ノ承諾ヲ經ルニアラサレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第三十一條 職工定夫ハ腕章ヲ他人ニ貸付シ勤務票札ノ授受ヲ他人ニ託シ又ハ他人ノ依頼ヲ受
ケ勤務票札ヲ授受スルコトヲ得ス

第三十二條 職工定夫ハ一定ノ場所又ハ係官ノ許可ヲ得タル場所以外ニ於テ危險豫防ノ装置ヲ
キ火ヲ使用スルコトヲ得ス

第三十三條 前各條ノ外大林區署長ハ必要ニ應シ職工定夫ノ服膺スヘキ心得方ヲ定ムヘシ
第三十四條 休暇日ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一 紀元節
- 二 天長節
- 三 春季皇靈祭、秋季皇靈祭
- 四 鎮守祭典二日

- 五 一日及十五日
- 六 年始三日間
- 七 中元二日間
- 八 年末二日間

第三十五條 大林區署長ハ事業上ノ必要ニヨリ職工、定夫ノ全員若ハ數員ニ對シ前條ノ休暇ヲ廢罷シ又ハ前條ノ外臨時休暇ヲ與フルコトアルヘレ但シ其ノ全員ニ關スル場合ニ在リテハ事由ヲ具シ其ノ都度農商務大臣ニ報告スヘシ

第三十六條 職務ノ爲疾病ニ罹リ若ハ傷痕ヲ蒙リタルトキハ再ヒ執業ニ堪ユルニ至ル迄休暇ヲ與フヘシ但シ醫師ノ診斷書ヲ以テ證明シタルモノニ限ル

第四章 監督

第三十七條 大林區署長ハ職工、定夫中ニ取締ヲ置クヘシ但シ製材工場ノ規模小ニシテ其ノ必要ナキモノハ此ノ限ニ在ラス

第三十八條 職工、定夫ノ取締ハ係官ノ指揮ヲ受ケ職工、定夫ノ監督及工場取締ニ關スル事務ニ付係官ヲ補佐スルモノトス

第三十九條 大林區署長ハ職工、定夫ニ關スル名簿ヲ備置クヘシ
名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 住所、氏名、年齢
- 二 職名、等級、給料額
- 三 採用及罷免ノ年月日

四 身元引受人ノ住所氏名

五 賞罰其ノ他必要ナル事項

第四十條 大林區署長ハ離形ニ準シ腕章ヲ作り職工、定夫ニ附與スヘシ腕章ナキ者ハ入場セレムヘカラス

第四十一條 大林區署長ハ職工、定夫ニ勤務票札ヲ附與スヘシ
勤務票札ハ離形ニ準シ之ヲ作り職工、定夫ヲシテ毎日出勤ノ際事務所ニ差出サシメ早出、居殘其ノ他必要ト認メタル事項ヲ之ニ記入シ係官檢印シ本人退出ノ時之ヲ交付スヘシ

第四十二條 大林區署長ハ帳簿ヲ設ケ係官ヲシテ勤務票札ニ記載シタル事項ヲ記載セシムヘシ

第四十三條 係官ニ於テ必要ト認ムルトキハ職工、定夫ニ渡シタル器械、物品ヲ検査シ又ハ時宜ニ依リ職工ノ携帶品ヲ検査スルコトアルヘシ

第四十四條 私有ノ工具ヲ工場内ニ携帶セントスルトキハ工場係官ノ許可ヲ得現品ノ點檢ヲ受クヘキモノトス其ノ退場セムトスルトキ亦同シ

第四十五條 食事及喫煙ハ食事又ハ休憩時間中一定ノ場所ニ於テ之ヲ行ハシムヘシ

第四十六條 職工、定夫又ハ身元引受人ニシテ轉居、改姓、改名若ハ改印ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ届出ツヘキモノトス
死亡、不在ノ場合ニ於テハ職工、定夫ニ付テハ身元引受人、身元引受人ニ付テハ職工、定夫ヨリ其ノ旨ヲ届出ツヘキモノトス

第四十七條 職工、定夫ニシテ徵兵検査又ハ演習ノ爲召集セララル、トキハ其ノ旨ヲ届出ツヘキモノトス

第五章 給與

第四十八條 職工、定夫ノ給料ハ勤務日數ニ應シ之ヲ給與ス但シ昇等、増給ノトキハ即日、減給ノトキハ發令ノ翌日ヨリ之ヲ起算シ解職若ハ死亡ノトキハ其ノ當日迄之ヲ支給スルモノトス
製材工場所在地外ニ於テ採用シタルトキハ就職ノ爲居住地出發ノ日ヨリ給料ヲ支給スルモノトス

第四十九條 職工、定夫ノ等級給料ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ婦女ハ五等級ニ依リ、見習工ハ等級ニ依ラス其ノ日給四拾錢以下トス

等級 日給額

一等 壹圓參拾錢迄

二等 壹圓迄

三等 七拾錢迄

四等 五拾錢迄

五等 貳拾五錢迄

大林區署長ハ昇等、増給及同等内ニ於ケル給料ノ差額ニ關スル内規ヲ定メ農商務大臣ニ報告ス
ヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第五十條 職工ニシテ一等最高給料ヲ受ケ技術熟達勤務拔群ナルモノハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ男工ニ在テハ日給貳圓女工ニ在テハ日給五拾錢迄ヲ給スルコトヲ得

第五十一條 給料ハ前月二十六日ヨリ其ノ月十日迄ノ分ヲ毎月十四日ニ、其ノ月十一日ヨリ二十

五日迄ノ分ヲ毎月末日(十二月ハ二十八日)ニ支給スルモノトス但シ當日公暇日ニ當ルトキハ繰上ケトス

解職又ハ死亡ノトキハ其ノ際給料ヲ支給ス

第五十二條 定時間外ニ執業ヲ命ゼタル場合ニ於テハ左記ノ給料ヲ支給ス

一 四時間未満ハ一時間毎ニ日給十分ノ一

二 四時間ヲ超ユルトキハ四時間ヲ超ユル一時間毎ニ日給十分ノ一半ヲ支給ス但シ六時間ヲ超ユルトキハ更ニ相當増額ヲ爲スコトアルヘシ

第五十三條 缺勤者、休業ヲ命ゼラレタル者又ハ休暇ヲ得タル者臨時出勤ヲ命ゼラレ執業シタルトキハ日給半額ヲ給シ五時間ヲ超ユルトキハ全額ヲ給ス給料ヲ給スヘキ休暇日ニ係ルトキハ一時間毎ニ日給十分ノ一ヲ増給ス

前條及第五十七條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五十四條 臨時ニ過激又ハ危險ノ業務ニ従事セシメタルトキハ特ニ通常給料ノ十分ノ三以内ヲ増給スルコトアルヘシ

第五十五條 疾病其ノ他ノ事故ニ因リ出勤遅刻、早引若ハ外出シタルトキハ一時間毎ニ日給十分ノ一ヲ減ス但シ作業上ノ都合ニ因リ服務ヲ罷メ退場セシメタルトキ又ハ職務ノ爲メ疾病ニ罹リ若ハ傷瀆ヲ蒙リ退場シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十六條 出勤セサルモ給料ヲ給スル場合左ノ如シ

一 第三十四條各號ノ場合ハ全額、但シ休暇日ノ前後又ハ前後ノ内一日缺勤シタルモノヲ除ク

二 第三十六條ノ場合ハ三週間以内ハ全額、以後十週間以内ハ半額、以後再日執業ニ堪ユルニ至

ル迄ハ四分ノ一
三 傳染病ニ因ル交通遮斷、隔離法施行等ノ爲出勤スル能ハサル場合若ハ傳染病豫防ノ爲出勤
ヲ差止メタル場合ハ全額

四 父母夫妻又ハ同居ノ親族ノ忌引ノ爲出勤シタルトキハ半額
五 休業ヲ命ジタルトキハ三分ノ一

見習工ニ付テハ第三十四條第四號又ハ第五號ニ依ル休暇及前項第五號ノ場合ニ於テ給料ヲ支給
セス

第五十七條 第十五條及第十六條ノ場合ニ於ケル早出居殘ニ付テハ給料ヲ給セス
第五十八條 時間數ノ計算ニ關シ三十分以上ハ一時間ニ繰上ケ三十分未満ハ切捨トス

第六章 賞罰

第五十九條 職工、定夫ニシテ格別勉勵ノモノニハ別ニ定ムル所ニ依リ慰勞手當ヲ給スルコトヲ
得

左ノ各號ノ一ニ該當スル者アルトキハ大林區署長ハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ褒賞スルコト
ヲ得

- 一 事業上有益ナル發明ヲ爲シタル者
- 二 危害ヲ未發ニ防キ若ハ事變ノ際特別ノ功勞アル者
- 三 永年勤続ノ者

第六十條 職工、定夫ニシテ規則命令ヲ遵守セス又ハ職務ヲ怠リタルトキハ大林區署長ハ之ヲ

懲戒スヘシ

第六十一條 懲戒ヲ分テ譴責、減給、解職ノ三トス
減給ハ五十日以内日給三分ノ一以下ニ當ル金額ヲ減スルモノトス

附則

第六十二條 従前ノ職工、定夫ハ本令ニ依リ採用シタルモノト看做シ第七條ノ書類ヲ徴スヘシ

第六十三條 大林區署長ハ必要ニ應ジ本令ニ依ル事務ノ一部ヲ製材事業ヲ管理スル職員ニ委任ス
ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ委任條項ヲ定メ農商務大臣ニ報告スヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同

前項ノ規定ハ本令ニ依リ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ又ハ農商務大臣ニ報告ヲ要スル事項ニ之ヲ適
用セス

第六十四條 大林區署長本令ニ關シ細則ヲ定メタルトキハ農商務大臣ニ報告スヘシ之ヲ變更シタ
ルトキ亦同シ

書式

證書



何處何市何村大字何番地
族籍、戸主又ハ何ノ誰何男、女
何

生年月日 誰

明治三十九年九月 訓令 農商務省第三十四號 製材職工定夫規則

二六六

今般御製材職工(定夫)ニ御採用相成候ニ付テハ本人ニ於テ諸規則其他ノ御命令堅ク相守リ誠實ニ勤務可致若シ本人身上ニ關シテ如何ナル事故發生致候共身元引受人ニ於テ悉皆引受處辨可仕候爲後日身元引受人連署此段誓約候也

年月日

何大林區製材職工(定夫)

何

誰

何市郡何村大字何番地

族籍職業戶主

身元引受人

誰

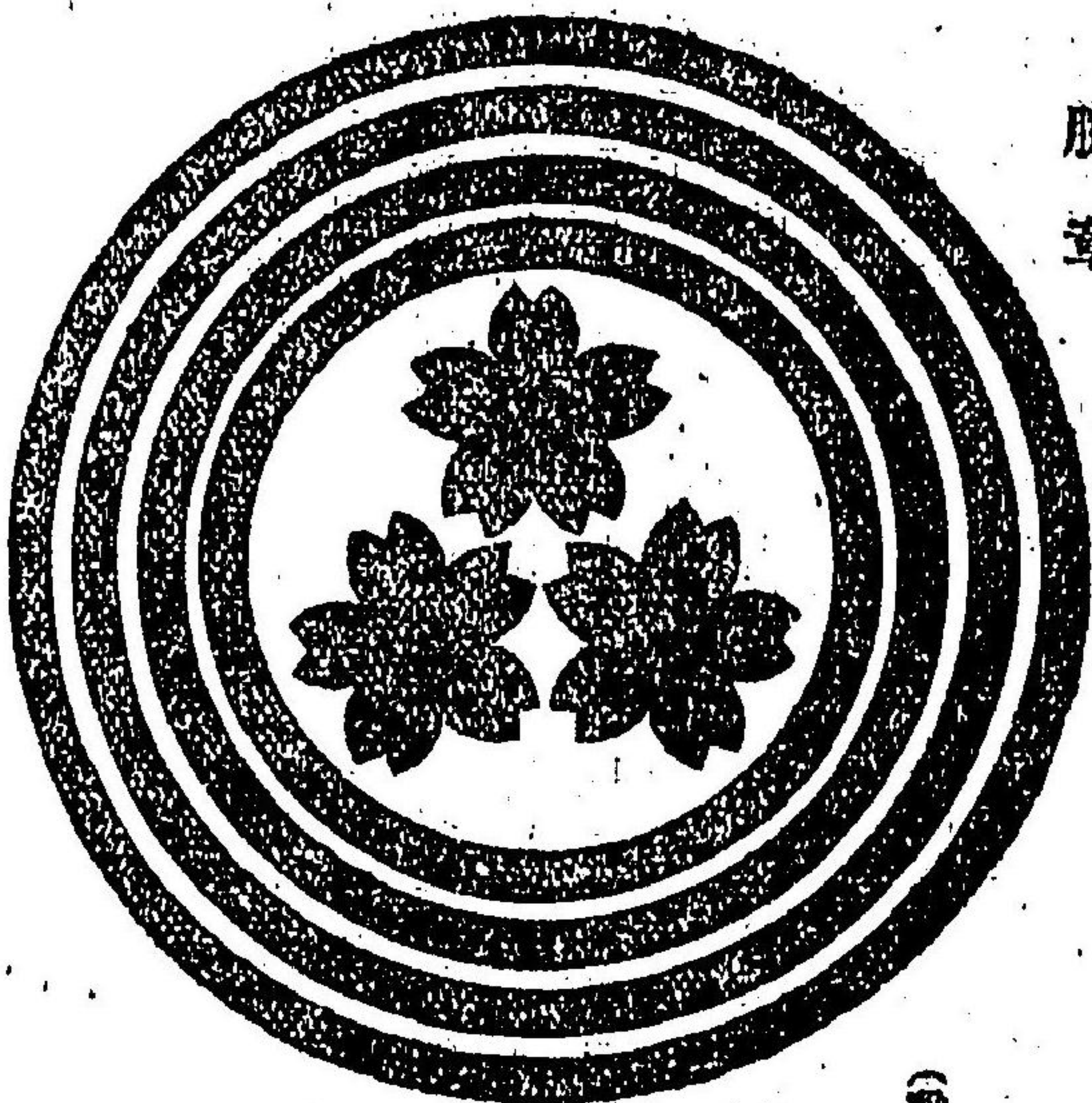
何大林區署長官氏名宛

離形

勤務票札		
事 由	附 日	前 月 當 月 日 計
	分何人登共勤將ハ又出早	
人 登	日六十三	計
	日七十三	
勤缺ハ又休	日八十三	計
	日九十三	
分何引早	日十三	計
	日一十三	
分何業夜	日一十三	計
	日一十三	
分何人何	日 計	職名若ハ何撥當 定夫 氏 名
賃金總計	日給額	
何 程	何 程	

離形

腕章



(說明)

最大輪外徑 二寸四分
 輪ノ幅 一 分
 輪ノ間 五 厘
 中楕花外徑 六 分
 盛地質 白キアラコ
 輪 深緑真田組
 三輪機 深緑羅紗
 輪ノ數ハ職工ノ等級ニ應シ定ム
 ルモノニシテ一等工ハ四輪二等
 工ハ三輪三等工ハ二輪四等工ハ
 一輪トス但シ五等工及見習工ハ
 輪ヲ付セス

○統監府訓令第二十號(官報九月八日)

統監府鐵道管理局臨時鐵道建設部分課規程左ノ通定ム

明治三十九年九月一日

統監侯爵伊藤博文

明治三十九年九月 訓令 統監府第二十號、統監府鐵道管理局臨時鐵道建設部分課規程

二六七

統監府鐵道管理局臨時鐵道建設部分課規程

第一條 統監府鐵道管理局臨時鐵道建設部ニ左ノ五課ヲ置ク

- 主記課
- 計理課
- 工務課
- 運輸課
- 汽車課

第二條 主記課ハ庶務及他ノ課ニ屬セサル事務ヲ掌理ス

第三條 計理課ハ會計及倉庫ニ關スル事務ヲ掌理ス

第四條 工務課ハ線路及建設物ノ建設改良並修理保管ニ關スル事務ヲ掌理ス

第五條 運輸課ハ鐵道ノ運輸及鐵道用電氣通信ニ關スル事務ヲ掌理ス

第六條 汽車課ハ車輛ノ運轉保管並工場ニ關スル事務ヲ掌理ス

○統監府訓令第二十一號(官報九月二十六日)

統監府鐵道管理局臨時鐵道建設部出納官吏及出納員任命規程左ノ通定ム

明治三十九年九月十九日

統監侯爵伊藤博文

統監府鐵道管理局臨時鐵道建設部出納官吏及出納員任命規程

第一條 統監府鐵道管理局臨時鐵道建設部ニ主任收入官吏主任現金前渡官吏歳入歳出外現金出納官吏出納員及主任物品會計官吏ヲ置ク

同部所屬京義線及馬山線ノ各驛ニ分任收入官吏分任現金前渡官吏出納員及分任乘車券類會計官

吏ヲ置ク

前二項ノ外必要アルトキハ臨時出納官吏及出納員ヲ置クコトヲ得

第二條 各驛ノ驛長ハ前條第二項ニ依リ分任收入官吏分任現金前渡官吏分任乘車券類會計官吏トス

出納官吏ニ屬シテ現金出納ノ職務ヲ執ル者ハ總テ出納員トス

第三條 前條ニ依ル者ノ外出納官吏及其ノ代理官ハ統監府鐵道管理局長官特ニ之ヲ命免ス

第四條 主任收入官吏又ハ主任現金前渡官吏二名以上ヲ置ク場合ニハ各其ノ分任者ハ主任者ノ主管區域ニ從ヒ當該主任者ノ所屬トス

分任乘車券類會計官吏ハ主任物品會計官吏ノ所屬トス但シ主任物品會計官吏二名以上ヲ置ク場合ニハ前項ニ準ス

出納員ハ總テ各勤務所ノ出納官吏ノ所屬トス

第五條 本規程ニ定メナキ事項ニ付テハ統監府鐵道管理局出納官吏及出納員任命規程ヲ適用ス

○内閣訓令第二號
種馬牧場種馬育成所種馬所處務規程左ノ通定ム

馬政局 種馬牧場 種馬育成所 種馬所

明治三十九年十月六日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

種馬牧場種馬育成所種馬所處務規程

第一條 種馬牧場長、種馬育成所長、種馬所長ハ官制ノ定ムル所ニ從ヒ主管事務ノ整理ニ付其ノ責ニ任ス

第二條 種馬牧場長、種馬育成所長、種馬所長事故アルトキハ部下ノ官吏ヲシテ場所長ノ名義ヲ以テ事務ヲ處辨セシムルコトヲ得

第三條 種馬牧場長、種馬育成所長、種馬所長ハ事務整理ノ爲馬政長官ニ經伺ノ上處務細則ヲ設クルコトヲ得

第四條 種馬牧場長、種馬育成所長、種馬所長ハ其ノ場員又ハ所員ニ對シ主管事務ノ分任擔當ヲ定ム

第五條 種馬牧場長、種馬育成所長、種馬所長ハ判任官以下ノ歸省看護墓參轉地療養願ヲ許可シ又ハ除服出仕ヲ命スルコトヲ得

第六條 種馬牧場長、種馬育成所長、種馬所長ハ場員又ハ所員ノ出張ヲ要スルトキハ其ノ旨馬政長官ニ伺出ツヘシ但シ經伺ノ暇ナキ場合ニ於テハ臨時出張ヲ命シ其ノ事由ヲ報告スヘシ

第七條 馬匹品評會等ノ爲旅費ヲ支辨シ場員又ハ所員ノ出張ヲ申出ツル者アルトキハ種馬牧場長、種馬育成所長、種馬所長ハ之ヲ許可スルコトヲ得

第八條 種馬牧場長、種馬育成所長、種馬所長ハ牧夫農夫ニ出張ヲ命スルコトヲ得

第九條 種馬牧場長、種馬育成所長、種馬所長ハ月俸十二圓又ハ日給四十錢ヲ超ニサル雇員又ハ傭員ノ採用解免ヲ專行スルコトヲ得

第十條 種馬牧場長、種馬育成所長、種馬所長ハ其ノ主管事務ニ付各官廳ニ照會往復スルコトヲ得

第十一條 種馬牧場長、種馬育成所長、種馬所長ハ毎年七月末日迄ニ翌年度ニ於ケル事業設計書ヲ馬政長官ニ提出スヘシ

第十二條 種馬牧場長、種馬育成所長、種馬所長ハ第四條、第五條、第七條、第八條及第九條ノ場合ニ於テハ其ノ都度馬政長官ニ報告スヘシ

第十三條 種馬牧場長、種馬育成所長、種馬所長ハ毎年二月十五日迄ニ前年ノ業務成績ヲ馬政長官ニ報告スヘシ

北海道廳 府縣

○内務省訓令第十七號

明治二十四年内務省訓令第十四號第一條中左ノ通改正ス

第十號中第十三條ノ下ニ「明治三十九年八月勅令第二百二十號」ヲ加フ

第十二號中查定ノ下ニ「シ又ハ脱落地」ヲ官有地ニ編入「ヲ加フ

明治三十九年十月四日

内務大臣原敬

〔参照〕

- 一 内務省訓令第十四號(明治二十四年七月二十四日)抄録
- 二 第一條 官有土地水面ニ關スル處分ノ内左ニ掲クルモノハ之ヲ委任ス但處分ノ後内務報告例ニ依リ報告スヘシ
- 三 十 明治二十三年七月勅令第三百三十五號官有地特別處分規則第三條同年十一月勅令第二百七十五號官有財產管理規則第十二條及第十三條ニ依リ五段歩以下ノ官有土地水面ヲ購與スル事
- 四 十二 官民有地ノ境界ヲ查定スル事

○大藏省訓令第四十二號

明治三十六年^六大藏省訓令第三十一號稅務統計彙帳目錄及樣式中左ノ通改正追加ス

明治三十九年十月二十七日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

稅務統計彙帳目錄

- 第一 管區表
- 第二 直接稅負擔額表
- 第三 會社數表
- 第四 有租地表
- 第五 免租地表
- 第六 年期地表
- 第七 變換地表
- 第八 改良地表
- 第九 整理地表
- 第一〇 地租増減表
- 第一一 地租納額別人員表
- 第一二 收穫皆無地免租表
- 第一三 收穫皆無地地租年賦延納額表
- 第一四 地價最高最低表
- 第一五 土地取扱筆數表

稅務監督局 稅務署

- 第一六 土地買賣價格表
- 第一七 土地賃貸價格表
- 第一八 登錄稅表
- 第一九 所得稅表
- 第二〇 第三種所得種類別表
- 第二一 第三種所得調査決定額表
- 第二二 第一種第三種所得審査決定額表
- 第二三 第一種第三種所得更定額表
- 第二四 第一種第三種所得稅納額別人員表
- 第二五 營業稅表
- 第二六 營業稅審査決定額表
- 第二七 營業稅訴訟願訴訟ニ依ル決定額表
- 第二八 營業稅法第二十九條ニ依ル更定額表
- 第二九 營業稅納額別人員表
- 第三〇 通行稅表
- 第三一 相續開始數及課稅區分表
- 第三二 相續稅表
- 第三三 相續稅免除表
- 第三四 相續稅納額別人員表

- 第三五 相續稅擔保種類別表
- 第三六 相續稅年賦延納額表
- 第三七 相續稅審査決定額表
- 第三八 相續稅訴訟願訴訟ニ依ル決定額表
- 第三九 酒造稅表
- 第四〇 含有酒精容量度數別酒類査定石高表
- 第四一 含有酒精容量度數別燒酎査定石高表
- 第四二 酒造免許場數造石高區分表
- 第四三 十月一日現在持越酒類石高表
- 第四四 酒造稅納稅保證種類別表
- 第四五 酒造稅免除表
- 第四六 酒母醱及麴製造表
- 第四七 清酒步合表
- 第四八 燒酎步合表
- 第四九 酒精及酒精含有飲料稅表
- 第五〇 酒精及酒精含有飲料稅免除表
- 第五一 麥酒稅表
- 第五二 麥酒稅免除表
- 第五三 三月一日現在持越酒精、酒精含有飲料、麥酒石高表

- 第五四 工業用酒精酒類其他酒精含有飲料戻稅表
- 第五五 甘蔗植付段別及收穫高並ニ製糖高表
- 第五六 砂糖製造人員場數表
- 第五七 砂糖消費稅表
- 第五八 砂糖消費稅徵收區分表
- 第五九 砂糖消費稅擔保種別表
- 第六〇 輸入原料砂糖戻稅表
- 第六一 醬油稅表
- 第六二 醬油稅免除表
- 第六三 醬油製造場數造石高區分表
- 第六四 一月一日現在持越醬油石高表
- 第六五 醬油步合表
- 第六六 自家用醬油稅表
- 第六七 賣藥稅表
- 第六八 賣藥稅免除表
- 第六九 鑛業稅表
- 第七〇 砂金採取地稅表
- 第七一 取引所稅表
- 第七二 骨牌稅表

- 第七三 骨牌稅免除表
- 第七四 骨牌製造免許料分納擔保種別表
- 第七五 織物製造仲買小賣戶數表
- 第七六 織物消費稅表
- 第七七 織物消費稅徵收區分表
- 第七八 織物消費稅免除表
- 第七九 織物消費稅擔保種別表
- 第八〇 稅印押捺表
- 第八一 租稅賦課及測定額表
- 第八二 國稅徵收表
- 第八三 國稅納期別收入步合表
- 第八四 租稅外諸收入表
- 第八五 國稅滯納表
- 第八六 直稅國稅犯則者表
- 第八七 間接國稅犯則者表
- 第八八 間接國稅犯則行為別人員表
- 第八九 印紙賣下高及賣捌人員表
- 第九〇 物價表
- 第九一 內國稅徵收費現計額表

第九二 内國稅徵收費稅別表

稅務統計彙帳樣式

- 第一 管區表中「廣袤」ノ欄ヲ削リ管内一巡里程ノ欄ニ「陸路」「汽車路」「水路」ノ三欄ヲ設ク
- 第二 直接稅負擔額表中備考欄(一)(二)(四)ヲ左ノ如ク改メ(六)ノ一項ヲ加フ
 - (一) 戶數人口ハ十二月末日ノ現住戸口ヲ記入スルモノトス
 - (二) 稅額ハ一會計年度間ノ測定額(滯納處分ノ引受引繼ヲ加除シ測定外課納額及前年度收入未済額本年度へ繰越ヲ除ク)ヲ記入スルモノトス
 - (三) 府縣ノ費用ヲ市町村ニ分賦シタル場合ハ之ヲ市町村稅中ニ合算シ(府縣稅中ニハ之ヲ算入セス)其金額ヲ備考ニ記載スルモノトス
 - (四) 直接稅ノ種別ハ府縣制第百四十五條市制第百三十一條町村制第百三十六條ニ基キ設セラレタル告示ニ依ルモノトス但無記名債券ノ所得ニ係ル所得稅ヲ除算スルヲ要セス
- 第三 會社數表中拂込資本金ノ次ニ「積立金額」「社債金額」「配當金額」ノ三欄ヲ設ケ備考欄(一)ヲ左ノ如ク改メ(五)ノ一項ヲ加フ
 - (一) 十二月末日ノ現在ニ依リ調理シ本店ノミヲ掲クルモノトス但シ外國會社ノ支店ハ各其員數ヲ備考ニ記載スルモノトス
 - (五) 配當金額ハ其年内ニ計算期ノ終了シタルモノヲ記入スルモノトス
- 第四 有租地表中備考欄(二)ヲ左ノ如ク改ム
 - (二) 地租ハ地價ニ租率ヲ乘シタルモノヲ掲クルモノトス
- 第六 年期地表中備考欄ニ左ノ一項ヲ加フ
 - (五) 遺跡土族拂下地ハ開墾地(合算シ其別筆數ヲ備考ニ記載スルモノトス
- 第一〇 地租増減表中備考欄(三)ヲ削ル
- 第一一 地租納額別人員表中備考欄ニ左ノ一項ヲ加フ

- (二) 定率増徴合計額ニ依リ調査記入別ニ定率ニ依リ調査シタルモノヲ赤符併記スルモノトス
- 第一二 收穫皆無地免租表中種別欄記載例ヲ左ノ如ク改ム

種別	年 費	年 費	年 費	年 費
何	田畑計	何	田畑計	何
何	田畑計	何	田畑計	何
合	計	合	計	何
	田畑計		田畑計	年
				(以下同上)

- 同表中備考欄(一)ヲ左ノ如ク改メ(二)ヲ削ル
 - (一) 曆年ニ依リ處分濟ノモノヲ記入スルモノトス
- 第一五 土地取扱筆數表中備考欄(六)ヲ左ノ如ク改メ(八)ノ一項ヲ加ヘ從前(八)ヲ(九)ニ改ム
 - (六) 土地所有者異動ハ登記所ヨリ通知ニ係ルモノヲ算入セサルモノトス
 - (八) 地目變換、地類變換ハ地價修正ヲ以テ處分濟トシ修正以前ハ前年越前及處分未濟ニ記入スルモノトス
- 第二二 第三種所得調査決定額表中種別欄ニ二箇以上ノ稅務署ニ於テ決定シタル所得取消額「トアルヲ重複決定及誤謬訂正ニ依ル取消又ハ減差額」ト改メ備考欄ノ從前(三)ヲ削リ左ノ一項ヲ加フ
 - (三) 審查ノ手續ヲ經シテ當初ノ決定額ヲ取消シ又ハ訂正シタルモノハ總テ重複決定及誤謬訂正ニ依ル取消又ハ減差額中ニ合算スルモノトス

第二二 第一種第三種所得審查決定額表中備考欄ノ從前ノ(三)ヲ削リ左ノ三項ヲ加フ

- (三) 戶主又ハ家族ノ一方カ審查請求ノ結果税率ニ變更ヲ生シ之カタメ他ノ一方ノ稅額ニ異動ヲ生スル時ハ其人及税金差額ヲ備考ニ記載スルモノトス
- (四) 戶主又ハ家族ノ一方カ審查請求ノ結果無資格トナリタルタメ他ノ一方モ之ニ伴ヒ無資格トナリタルモノアル時ハ其人所得金額及稅額ヲ備考ニ記載スルモノトス
- (五) 前年審查未決額ノ決定シタルモノハ其決定シタル年次ノ各相當欄ニ之ヲ外書スルモノトス

第二三 第一種第三種所得更定額表中備考欄ノ從前ノ(四)ヲ削リ左ノ三項ヲ加フ

- (四) 戶主又ハ家族ノ一方カ訴願訴訟ノ結果税率ニ變更ヲ生シ之カタメ他ノ一方ノ稅額ニ異動ヲ生スル時ハ其人及税金差額ヲ備考ニ記載スルモノトス
- (五) 戶主又ハ家族ノ一方カ訴願訴訟ノ結果無資格トナリタルタメ他ノ一方モ之ニ伴ヒ無資格トナリタルモノアル時ハ其人所得金額及稅額ヲ備考ニ記載スルモノトス
- (六) 前年處分未決額ノ決定シタルモノハ其決定シタル年次ノ各相當欄ニ之ヲ外書スルモノトス

第二四 第一種第二種所得稅納額別人員表中備考欄ノ從前ノ(三)ヲ削リ左ノ二項ヲ加フ

- (三) 定率増徴合計額ニ依リ調査記入シ別ニ定率ニ依リ調査シタルモノヲ赤字併記スルモノトス
- (四) 合計人員カ第一九所得稅額表ノ納稅人員ト符合セサル時ハ其事由ヲ備考ニ併記スルモノトス

第二五 營業稅表中備考欄ノ(三)ヲ左ノ如ク改メ(四)ノ一項ヲ加フ

- (三) 同一人ニシテ數箇所ニ於テ營業ヲ爲ス場合甲各營業場ヲ通シ同種ノ營業ヲ爲スモノ、場數ハ各別ニ人員ハ一人トシテ計算シ(乙)各營業場ニテ數種ノ營業ヲ爲スモノ、場數ハ營業場毎各別ニ計算シ人員ハ主たる一方ニ屬シ他ハ之ヲ赤字シ(丙)各營業場ノ中同一場所ニテ數種ノ營業ヲ兼スル者ノ人員場數ハ本項ニ依ルノ外尙前項ニ依リ計算スルモノトス
- (四) 課稅標準ノ届出ヲ爲サヌ又ハ其届出ヲ不相當ト認メ政府ニ於テ訂定シタルモノハ其場數人員課稅標準及稅額ヲ備考ニ記入スルモノトス

第二七 營業稅訴願訴訟ニ依ル決定額表中備考欄ニ左ノ一項ヲ加フ

- (三) 前年處分未決額ノ決定シタルモノハ其決定シタル年次ノ各相當欄ニ之ヲ外書スルモノトス

第二八 營業稅法第二十九條ニ依ル更定額表中種別欄減額申立額トアルヲ「更定申立額」ト改メ

第二九 營業稅納額別人員表中備考欄ニ左ノ二項ヲ加フ

- (二) 定率増徴合計額ニ依リ調査記入シ別ニ定率ニ依リ調査シタルモノヲ赤字併記スルモノトス
- (三) 合計人員ハ第二五營業稅表ノ營業人員ト符合スヘキモノトス

第三一 相續開始數及課稅區分表中種別欄記載例ヲ左ノ如ク改ム

種別	何年度	何年度
	前年度處分未決高	前年度
	本年度報告收受高	報告收受高
	計	計
	相續開始數	相續開始數
	處分未決高	處分未決高
	何年度	何年度
	(以下同上)	(以下同上)

第三二 相續稅表中課稅價格區分欄未滿トアルヲ「以下」ニ「以上」トアルヲ「ヲ超ニルモノ」ト改メ備考欄ニ左ノ二項ヲ加フ

- (四) 相續人二人以上アリテ納稅人員ト相續件數ト一致セサルトキハ相續件數ヲ課稅價格及各種別毎ニ區分シ備考ニ記載スルモノトス
- (五) 稅法第十條ニ依リ税金ヲ免除スヘキモノアルモ之ヲ免除セサルモノト同シク計算記入スルモノトス

第三五 相續稅擔保種別表中備考欄ニ左ノ一項ヲ加フ

- (五) 税金ヲ分納シタルトキハ保證物解除額ノ稅額中ニ之ヲ合算シ且其金額ハ内書ヲ以テ之ヲ明示シ保證物價格及保證人貸力ノ金額ハ實際保證物ヲ解除スルニ至ルマテ之ヲ據置クモノトス

第三六 相續稅年賦延納額表中備考欄ニ左ノ一項ヲ加フ

- (二) 前年度中ノ決定ニ屬スルモノハ翌年度ニ入り延納ヲ許可スルモ前年度ノ延納處分ト見做シ記入スルモノトス

第三七 相續稅審查決定額表中備考欄ニ左ノ一項ヲ加フ

- (三) 前年度審查未決額ノ決定シタルモノハ其決定シタル年次ノ各相當欄ニ之ヲ外書スルモノトス

第三八 相續稅訴願訴訟ニ依ル決定額表中備考欄ニ左ノ一項ヲ加フ

(四)前年度處分未決額ノ決定シタルモノハ其決定シタル年次ノ各相當欄ニ之ヲ外荷スルモノトス

第四七 清酒歩合表中備考欄ノ(二)ヲ左ノ如ク改ム

(二)歩合ハ四捨五入法ヲ用ヒ合又ハ八分ニ止ムルモノトス

第四八 燒酎歩合表中備考欄ノ(二)ヲ左ノ如ク改ム

(二)歩合ハ四捨五入法ヲ用ヒ單位以下三位ニ止ムルモノトス

第四九 酒精及酒精含有飲料稅表中備考欄ノ(四)ヲ左ノ如ク改ム

(四)含有酒精度數二十一度ノモノハ其石數及酒精總量數ヲ備考欄ニ記載スルモノトス

第五九 砂糖消費稅擔保種別表中備考欄ニ左ノ一項ヲ加ヘ從前ノ(六)ヲ(七)ニ改ム

(六)既提供ニ係ル保證物ノ餘力ヲ利用スルタメニ新ニ擔保ヲ提供セスシテ引取り又ハ税金ヲ納付スルモ後日ノ擔保ニ供スル目的ヲ以テ之ヲ解除セサルモノハ本年度提供額及保證物解除額ニ其稅額ノミヲ記入スルモノトス

第六一 醬油稅表中種別欄ノ記載例ヲ左ノ如ク改ム

種別	何年	溜溜ヲ計	計
何種溜	生	引	合
	年	一	年
		年	
			(以下同上)

同表中次欄ノ上部「何年」ノ二字ヲ削リ及備考欄ノ(三)ヲ削リ(四)ヲ(三)ニ以下順次繰上ク

第六二 醬油稅免除表中種別欄「稅則第二條本文ニ依ルモノ稅則第三條但書ニ依ルモノ合計」ノ二
十六字ヲ削ル

第六五 醬油歩合表中備考欄ノ(三)ヲ削ル

第六九 鑛業稅表中備考欄ニ左ノ一項ヲ加フ

(四)坪數千坪未満ノ端數ハ千坪トシテ計算シタルモノヲ記入スルモノトス

第七〇 砂金採取地稅表中河床欄ノ「段別」及備考欄ノ(二)ノ「段別」トアルヲ各「延長」ト改ム

第七一 取引所稅表中種別欄「國債證券」ノ四字及地方債證券ノ下「計」ノ一字ヲ削ル

第八〇 稅印押捺表中種別欄受取書ノ次ニ「小切手」ノ一目ヲ加フ

第八三 國稅納期別收入歩合表中種別欄「烟郡村宅地雜地租」トアルヲ「郡村宅地租」雜地租ノ二目
ニ改メ「鑛業稅」「鑛區稅」ノ二目ヲ削リ「鑛產稅」「探掘鑛區稅」「試掘鑛區稅」「砂金採取地稅」ノ四目ヲ加
フ

第八八 間接國稅犯則行為別人員表共五醬油稅則第七欄「自家用料」ノ爲メニ製造シタル醬油ヲ賣

渡シタル者第八欄「稅則第十五條ノ申告ヲ爲サ、ル者」第十三欄「醬油製造人製造場外ニ於テ自家

用料」ノ醬油ヲ製造シタル者」第十四欄「稅則第一條第二項ニ該當スル者」一石ヲ超エテ諸味ヲ仕込

ミ又ハ溜ヲ製成シタル者」ノ四欄ヲ削ル

左ノ諸表ハ稅額欄内ニ「定率」「増徴」「計」ノ三欄ヲ設ク

第四 有租地表

第二五 營業稅表

第三九 酒造稅表

第四九 酒精及酒精含有飲料稅表

第五一 麥酒稅表

第五七 砂糖消費稅表

第六九 鑛業稅表

高表		第五四 工業用酒精酒類	
備	考	種 別	人員 石數
(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス		何 年 度	石
(二)製糖高ハ内地生産ニ係ル甘蔗ヲ原料トシテ製造シタル總額(査定未済ノモノトモ)ヲ記入スルモノトス		工業用ニ依リシモノ	
		火 尼 依 石 單 龍 食	
		藥 斯 兒 的 察 酸 腸 醣	
		セルロイド	
		外國ニ輸出スル香水	
		蒸汽汽鍋燃料	
		セルロイド加工用	
		合 計	
		火 藥 用	
		酒 精 耐	
		燒 酎	
		何	
		計	
		標 草 用	
		酒 精	
		何	
		計	
		合 計	
		何 年 度	
		(以下同上)	

其他酒精含有飲料戻稅表		第三三 相					
四精糖酒類	下戻金額	備 考	種 別	課稅額千	課稅額千	課稅額千	課稅額千
				圓以下	圓以下	圓以下	圓以下
人員	稅額	人員	稅額	人員	稅額	人員	稅額
		(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス	何 年 度				
		(二)同一人ニシテ納税ノ義務ヲ負フモノトス	加納税ヲ課セブレタ ル後三年以内ニ於テ 更ニ加納開始シタル モノ				
		(三)同一人ニシテ用途ニ合シタルモノトス	家督相續 遺産相續 計				
		(四)酒樽ノ數ハ標稅ハ數尙稅備	加納税ヲ課セブレタ ル後五年以内ニ於テ 更ニ加納開始シタル モノ				
		(五)本表ハ稅務管轄ノ	家督相續 遺産相續 計 合 計				
			何 年 度 (以下同上)				

高表		第五四 工業用酒精酒類		
備	考	種 別	人員	石數
(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス		何 年 度		石
(二)製糖高ハ内地生産ニ係ル甘蔗ヲ原料トシテ製造シタル總額(査定未済ノモノトモ)ヲ記入スルモノトス		王製用ニ供シタル酒精		
		火 藥		
		尼 的		
		依 的		
		石 草		
		草 酸		
		龍 腦		
		食 醋		
		セルロイド		
		外國ニ輸出スル香水		
		蒸汽汽鍋燃料		
		セルロイド加工用		
		合 計		
		火 藥 用		
		酒 精 用		
		燒 酎 用		
		何 種 計		
		標 草 用		
		酒 類 計		
		何 種 計		
		合 計		
		何 年 度		
		(以下同上)		

其他酒精含有飲料戻稅表		第三三 相							
種 別	備 考	課稅價格千圓以下		課稅價格五千圓以下		課稅價格十萬圓以下		課稅價格十萬圓以上	
		人員	稅額	人員	稅額	人員	稅額	人員	稅額
(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス	何 年 度								
(二)同一人ニシテ受領ハ一トシテ記入スルモノトス	家督相續 遺產相續 計								
(三)同一人ニシテ使用セシムル人員ハ一方ニシテモノトス	家督相續 遺產相續 計								
(四)酒類ニシテ其燒酎ニシテモノトス	何 年 度 (以下同上)								
(五)本ニ分ス									

明治三十九年十月 訓令 大藏省第四十二號

藥 稅 表				
課 稅 額		貼用印紙高	納税人員	備 考
徵 收	合 計			
				(一) 會計年度ニ依リ記入スルモノトス (二) 人員ハ三月末日ノ現在ヲ貼用印紙高ハ其總額ヲ合計シテノミニ記入シテ別ニ三月末日ノ現在ヲ合計シテ外付スルモノトス (三) 菸葉稅額ハ年度内賦課通計ヲ記入スルモノトス (四) 菸葉納税ヲ兼タル場合ニ於テハ各一人トシテ記入スルモノトス

第五五

甘蔗植付段別及收穫高製糖

年 次	甘 蔗		製 糖 高					
	植付段別	收穫高	原料畝積	第一種	第二種	第三種	第四種	合 計
何 年	町	畝	畝	斤	斤	斤	斤	斤

明治三十九年十月 訓令 大藏省第四十二號

明治三十九年十月 訓令 大藏省第四十二號

別表		第六八 賣藥	
年度末現在額		備 考	年 次
保費セラ ル、税額	保費セラ ル、税額		
		(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス	何 年 度
		(二)保證物ハ提供當時ノ時價ニ依リ掲記スルモノトス	
		(三)保證物ノ交換ヲ許可シタルモノハ交換後ノ保證物ニ就キ計算シ重額掲上セサルモノトス	
		(四)價格減少ノタメ増擔保ヲ提供セシメタルモノハ訂正額ニ依リ計算スルモノトス	
		(五)既提供ニ係ル保證物ノ餘力ヲ利用スル爲ニ新ニ擔保ヲ提供セシメタルモノハ次ノ擔保ニ金ヲ納付スルモ以テ之ヲ解除セサルモノハ本年度提供額及保證物解除額ニ其稅額ノミヲ記入スルモノトス	
		(六)前年度ヨリノ越高ト本年度提供額トノ計ヨリ解除額及ニ消費稅充當額ヲ控除シタルモノハ年度末現在額ニ符合スルモノトス	

二九一

明治三十九年十月 訓令 大藏省第四十二號

税免除表		第六七 賣		
税 額	備 考	種 別	營業人員	方 數
				警 定 率
	(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス	何 年 度		
	(二)年度内數同免シタルハ之ヲ一方除方トシテ記入スルモノトス	同 拾 萬 圓 未 清		
		同 七 萬 圓 未 清		
		同 五 萬 圓 未 清		
		同 貳 萬 圓 未 清		
		同 壹 萬 圓 未 清		
		同 五 千 圓 未 清		
		同 貳 千 圓 未 清		
		同 壹 千 圓 未 清		
		同 五 百 圓 未 清		
		同 參 百 圓 未 清		
		合 計		

二九〇

第七九 織物消費稅擔保種

種別	前年度ヨリ越高		本年度提供額		保證物解除額		消費稅充當額	
	擔保セラルル・税額	保證物價額	擔保セラルル・税額	保證物價額	擔保セラルル・税額	保證物價額	擔保セラルル・税額	保證物價額
何年度 金 錢 有價証券 何々 合計								
何年度 (以下同上)								

○大藏省訓令第四十三號

明治三十六年九月大藏省訓令第三十九號稅務統計臺帳簿本提出期限左ノ通改正ス

明治三十九年十月二十七日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

稅務監督局

稅務統計臺帳簿本提出期限表

番號	表	名	提出期限
第一	管區表		異動ノ時々
第二	直接稅負擔額表		翌年度十月末日
第三	會社數表		翌年二月末日
第四	有租地表		
第五	免租地表		
第六	年期地表		
第七	變換地表		
第八	改良地表		
第九	整理地表		
第一〇	地租増減表		翌年九月末日
第一一	地租納額別人員表		其年四月末日
第一二	收穫皆無地免租表		翌年二月十五日
第一三	收穫皆無地地租年賦延納額表		同
第一四	地價最高最低表		其年二月末日

明治三十九年十月 附令 大藏省第四十三號 稅務統計臺帳簿本提出期限表

第一五	土地取扱筆數表	翌年四月末日
第一六	土地賣買價格表	翌年二月末日
第一七	土地賃貸價格表	同
第一八	登錄稅表	同
第一九	所得稅表	其年十一月末日
第二〇	第三種所得種類別表	翌年五月末日
第二一	第三種所得調査決定額表	同
第二二	第一種第三種所得審查決定額表	同
第二三	第一種第三種所得更定額表	同
第二四	第一種第三種所得稅納額別人員表	翌年度五月末日
第二五	營業稅表	同
第二六	營業稅審查決定額表	翌年五月末日
第二七	營業稅訴願訴訟ニ依ル決定額表	同
第二八	營業稅法第二十九條ニ依ル更訂額表	同
第二九	營業稅納額別人員表	其年六月末日
第三〇	通行稅表	同
第三一	相續開始數及課稅區分表	翌年度五月十五日
第三二	相續稅表	同
第三三	相續稅免除表	同

第三四	相續稅納額別人員表	翌年度五月十五日
第三五	相續稅擔保種別表	翌年度六月三十日
第三六	相續稅年賦延納額表	同
第三七	相續稅審查決定額表	翌年度五月十五日
第三八	相續稅訴願訴訟ニ依ル決定額表	同
第三九	酒造稅表	翌酒造年度一月末日
第四〇	含有酒精容量度數別酒類査定石高表	同
第四一	含有酒精容量度數別燒酎査定石高表	同
第四二	酒造免許場數造石高區分表	翌酒造年度十一月末日
第四三	十月一日現在持越酒類石高表	同
第四四	酒造稅納稅保證種別表	其酒造年度七月末日
第四五	酒造稅免除表	翌酒造年度一月末日
第四六	酒母醱及麴製造表	同
第四七	清酒步合表	同
第四八	燒酎步合表	翌酒造年度十月末日
第四九	酒精及酒精含有飲料稅表	同
第五〇	酒精及酒精含有飲料稅免除表	同
第五一	麥酒稅表	同
第五二	麥酒稅免除表	同

第五三	三月一日現在持越酒精酒精含有飲料麥酒石高表	
第五四	工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅表	
第五五	甘蔗植付段別及收穫高並ニ製糖高表	翌年度四月末日
第五六	砂糖製造人員場數表	
第五七	砂糖消費稅表	
第五八	砂糖消費稅徵收區分表	翌年度六月末日
第五九	砂糖消費稅擔保種別表	
第六〇	輸入原料砂糖戻稅表	
第六一	醬油稅表	翌年二月末日
第六二	醬油稅免除表	
第六三	醬油製造場數造石高區分表	翌年三月末日
第六四	一月一日現在持越醬油石高表	其年二月末日
第六五	醬油步合表	
第六六	自家用醬油稅表	
第六七	賣藥稅表	翌年度五月十五日
第六八	賣藥稅免除表	同
第六九	鑛業稅表	翌年度五月末日
第七〇	砂金採取地稅表	翌年度四月末日
第七一	取引所稅表	

第七二	骨牌稅表	
第七三	骨牌稅免除表	
第七四	骨牌製造免許料分納擔保種別表	翌年二月末日
第七五	織物製造仲買小賣戶數表	其年一月末日
第七六	織物消費稅表	
第七七	織物消費稅徵收區分表	
第七八	織物消費稅免除表	
第七九	織物消費稅擔保種別表	翌年度七月十五日
第八〇	稅印押捺表	
第八一	租稅賦課及調定額表	翌年度九月末日
第八二	國稅徵收表	同
第八三	國稅納期別收入步合表	翌年度五月末日
第八四	租稅外諸收入表	翌年度九月末日
第八五	國稅滯納表	同
第八六	直接國稅犯則者表	翌年二月末日
第八七	間接國稅犯則者表	同
第八八	間接國稅犯則行為別人員表	
第八九	印紙賣下高及賣捌人員表	
第九〇	物價表	

第九一 內國稅徵收費現計額表
第九二 內國稅徵收費稅別表

○陸軍省訓令丙第二十四號

明治三十九年度當省所管歲入歲出科目表中へ左記ノ通増設ス

明治三十九年十月二日

歳出經常部

陸軍大臣寺内正毅

△印増設

款	項	目	節
軍 事 費	修 繕 費		
		大位	
		陸軍省及陸軍省所屬各官署 各官署及官署所屬各官署	
		小 蒸 汽 船 修 繕	

○陸軍省訓令丙第二十五號

明治三十九年度當省所管歲入歲出科目表中へ左記ノ通増設ス

明治三十九年十月十八日

歳出臨時部

陸軍大臣寺内正毅

△印増設

災 害 費	項	目	節

△印増設	陸軍省第八大隊本部及各官署 其他火災修繕費		
△印増設	陸軍省第八大隊本部及各官署 其他火災修繕費		
△印増設	陸軍省第二十五師團第三大隊 其他火災修繕費		
△印増設	陸軍省第二十五師團第三大隊 其他火災修繕費		

○陸軍省訓令丙第二十六號

明治三十九年度當省所管歲入歲出科目表中左記ノ通増設ス

明治三十九年十月二十日

千住製絨所

陸軍大臣寺内正毅

△印増設

款	項	目	節
千住製絨所作業收 入	雜 收 入	不位	
		地 所 貸 下 料	
		返 納 金	
		辨 償 金	

○陸軍省訓令丙第二十七號

明治三十九年度當省所管歲入歲出科目表中左記ノ通増設ス

明治三十九年十月二十日

陸軍大臣寺内正毅

陸軍一般

歳出臨時部

△印増設

款	項	目	節
營繕費	新營費		
		陸軍第二聯隊本部 及兵會改築	

○陸軍省訓令丙第二十八號

陸軍一級

明治三十九年度當省所管歳入歳出科目表中左記ノ通増設ス

明治三十九年十月二十四日

陸軍大臣寺内正毅

歳出臨時部

△印増設

款	項	目	節
營繕費	新營費		
		第一師管隊時局車 買取	

○農商務省訓令第三十五號

道廳 府縣

道廳府縣郡市農業工業林業水産各技師技手設置心得左ノ通相定ム

明治三十九年十月一日

農商務大臣松岡康毅

第一條 道廳府縣郡市農業工業林業及水産技師技手ノ業務ハ左ノ項目ニ依リ之ヲ定ムヘシ

一 講話講習實地指導及質問應答ニ關スルコト

二 調査計畫及督勵ニ關スルコト

三 共進會品評會等ノ出品審査ニ關スルコト

四 其ノ他必要ト認ムル事項

第二條 農業工業林業及水産各技師技手ヲ設置シタルトキハ速ニ其ノ氏名及擔任事業ヲ届出ツ

ヘシ其ノ之ヲ變更又ハ廢止シタルトキ亦同シ

第三條 農業工業林業及水産各技師技手ニ關スル經費ノ種別及豫算金額ハ毎年三月三十一日迄

ニ届出ツヘシ

第四條 農業工業林業及水産各技師技手ノ行ヒタル業務ニシテ地方長官ニ於テ重要ト認ムルモ

ノハ時々其ノ要領ヲ報告スヘシ

附則

明治二十七年農商務省訓令第二十八號及同三十四年農商務省訓令第十九號ハ之ヲ廢止ス

〔參照〕

明治二十七年八月農商務省訓令第二十八號ハ農事工業及水産巡迴教師設置ニ就キ心得方、同三十四年八月同訓令第十九號ハ北海道地方費ヲ以テ農事巡迴教師ヲ設置スルトキ準據ノ件ナリ

○農商務省訓令第三十一號

大林區署

明治三十三年三農商務省訓令第十一號大林區署會計事務章程中左ノ通改正ス

明治三十九年十月二十七日

農商務大臣松岡康毅

第十二條ニ左ノ但書ヲ加フ

但、小林區署經由ノ必要ナシト認ムルモノハ直ニ納人ニ交付スルコトヲ得
第五十條ヲ削ル

第六十四條中「四月二十日」ヲ「四月三十日」ニ改ム

第七十五條中「林區署事務章程ニ依リ」ヲ削リ「處分」ノ上ニ「專決」ヲ加フ

第九十一條「大林區署」ノ下ニ「及小林區署又ハ伐木其ノ他ノ事業場」ヲ加ヘ第二項ヲ削ル

第一百條中「九月ノ兩度ニ於テ」ト「其ノ」ヲ削ル

第一百條中「九月ノ兩度ニ於テ」ヲ削ル

第一百條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項亡失毀損ニ係ル物品ノ辨償金額十圓未滿ノモノハ物品出納命令官限り之ヲ處分シ其ノ都度
農商務大臣ニ報告スヘシ

○統監府訓令第二十二號（官報十月三日）

統監府鐵道管理局

本年七月統監府訓令第十六號ニ依リ準用スル逓信省公達第三百三十九號帝國鐵道官署會計事務取扱
規程第八十六條ノ保管金現在高報告ハ爾今提出ニ及ハス

明治三十九年九月二十七日

統監侯爵伊藤博文

○統監府訓令第二十三號（官報十月十五日）

勸業模範場 法務院

明治三十九年三月統監府訓令第二號統監府及理事廳物品會計規程ハ統監府勸業模範場及統監府法務
院ニ之ヲ準用ス

明治三十九年十月九日

統監侯爵伊藤博文

○統監府訓令第二十四號（官報十月十五日）

理事廳 勸業模範場

會計規則第九十八條ニ依リ現金前渡ヲ受ケタル官吏ノ提出スヘキ仕掛計算書ハ毎月一回其ノ翌月
十日迄ニ仕掛命令官ニ之ヲ送付スヘシ

明治三十九年十月九日

統監侯爵伊藤博文

○統監府訓令第二十五號（官報十月十五日）

統監府 理事廳 勸業模範場 法務院

明治三十九年三月統監府訓令第五號統監府及理事廳諸收入取扱規程左ノ通改ム

明治三十九年十月九日

統監侯爵伊藤博文

統監府及所屬官署諸收入取扱規程

第一條 統監府及所屬官署ノ諸收入ハ明治二十三年大藏省訓令第二十七號諸收入收納取扱規程ニ
依ルノ外本規程ニ依リ取扱フヘシ

第二條 統監府及所屬官署ノ諸收入ハ統監府ニ在リテハ總務長官、理事廳ニ在リテハ理事官、勸業
模範場ニ在リテハ場長、法務院ニ在リテハ院長之ヲ徵收スヘシ

第三條 金庫ノ設置ナキ地ニ在ル收入官吏現金ヲ領收シタルトキハ毎月一回京城本金庫ニ拂込ム
ヘシ

第四條 歳入徵收官ハ毎月徵收簿ニ依リ徵收報告ヲ編製スヘシ

所屬官署徵收官ノ編製スル徵收報告ハ参照書類ヲ添ヘ翌月十日迄ニ統監府ニ送付スヘシ

○統監府訓令第二十七號（官報十月十九日）

統監府訓令第二十一號統監府鐵道管理局臨時鐵道建設部出納官吏及出納員任命規程中左ノ通改正
ス

明治三十九年十月十一日

統監侯爵伊藤博文

第一條 第二項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ各驛中共ノ事務ノ狀況ニ依リ當分分任收入官吏分任現金前渡官吏ヲ置カサルコトアルヘシ
其ノ驛ハ統監府鐵道管理局長官之ヲ指定ス

第二條 第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ第一條第二項但書ニ依リ指定シタル各驛ノ驛長ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 第三項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ分任收入官吏ヲ置カサル驛ノ出納員ハ京義線ニ在リテハ龍山新幕間ハ龍山主任收入官吏
ニ、瑞興新義州間ハ平壤主任收入官吏ニ、馬山線ニ在リテハ釜山主任收入官吏ノ所屬トス

○統監府訓令第二十八號(官報十月三十日)

統監府通信管理局

統監府通信管理局分課規程左ノ通改正ス

明治三十九年十月二十四日

統監侯爵伊藤博文

統監府通信管理局分課規程

第一條 統監府通信管理局ニ左ノ五課ヲ置ク

- 一 總務課
- 一 業務課
- 一 計理課
- 一 出納課
- 一 工務課

第二條 課ニ課長ヲ置キ統監之ヲ命免ス

第三條 各課ニ左ノ掛ヲ置ク

- 一 總務課 庶務掛 監査掛
- 一 業務課 局所掛 線路掛
- 一 計理課 主計掛 調度掛 廳舎掛
- 一出納課 精算掛 爲替貯金掛
- 一 工務課 工事掛 試驗掛

第四條 各課掛ノ分掌事項左ノ如シ

總務課

庶務課

- 一 人事ニ關スル事項
- 二 賞罰ニ關スル事項
- 三 職員ノ定員定率ニ關スル事項
- 四 通信手及雇員試驗ニ關スル事項
- 五 機密文書ニ關スル事項
- 六 統計報告ニ關スル事項
- 七 記録編纂ニ關スル事項
- 八 證票ニ關スル事項
- 九 文書ノ授受、發送及淨書ニ關スル事項

- 十 各種ノ官印及印鑑ニ關スル事項
- 十一 圖書ノ保管及版權ニ關スル事項
- 十二 通信公報ノ發行ニ關スル事項
- 十三 石版ノ印刷及其ノ職工備役ノ監督ニ關スル事項
- 十四 翻譯ニ關スル事項
- 十五 囑託醫ニ關スル事項
- 十六 局中他ノ各課及課中他ノ掛ニ屬セサル事項

監査掛

- 一 事業ノ監督ニ關スル事項
- 二 事業ノ監察ニ關スル事項
- 三 郵便所長以下並各局所諸備人ノ身分進退功過ニ關スル事項
- 四 損害賠償官損處分報酬訴願及訴訟ニ關スル事項
- 五 犯罪申告其ノ他事故處分ニ關スル事項
- 六 第三種郵便物ノ認可、私書函ノ貸與及約束郵便ニ關スル事項
- 七 料金還付ニ關スル事項
- 八 電報ノ調査ニ關スル事項
- 九 官吏養成ニ關スル事項

業務課

局所掛

- 一 業務取扱上ニ屬スル法令ニ關スル事項
- 二 通信事業ニ屬スル各般業務ノ施設改良及取扱方法ニ關スル事項
- 三 各種料金ノ規定並變更ニ關スル事項
- 四 通信事業用品(電信電話ニ關スル分ヲ除ク)ノ規定ニ關スル事項
- 五 郵便局所及取扱事務ノ開廢變更ニ關スル事項
- 六 郵便切手賣捌所、郵便函、私書函及自動電話機ノ配置ニ關スル事項
- 七 局舎ノ位置及構造ニ關スル事項
- 八 業務取扱時間ニ關スル事項
- 九 郵便貯金特別取扱ノ開廢ニ關スル事項
- 十 各局所諸備人ノ定員定率及手當ニ關スル事項
- 十一 郵便所以下經費支給規程並分配ニ關スル事項
- 十二 物價勞銀調査ニ關スル事項
- 十三 過人馬ノ使役ニ關スル事項
- 十四 諸備人ノ服務規程ニ關スル事項
- 十五 電話加入ニ關スル事項
- 十六 課中他ノ掛ニ屬セサル事項

線路掛

- 一 郵便線路ノ改廢變更ニ關スル事項
- 二 郵便區集配區、電報直配達區域及電話加入區域ノ設定變更ニ關スル事項

- 三 集配度敷及集配等級ニ關スル事項
- 四 郵便物遞送命令及契約ニ關スル事項
- 五 遞送集配受負料及航送料ニ關スル事項
- 六 郵便遞送記ノ調査並過人馬受負遞送料ノ調査ニ關スル事項
- 七 郵便事業用船車馬ニ關スル事項
- 八 鐵道郵便室及鐵道係員詰所、休憩所、湯供給所並郵便物保管所ニ關スル事項
- 九 郵便行囊ニ關スル事項
- 十 電信電話回線ノ増設新設及變更ニ關スル事項
- 十一 電報ノ中繼順路ニ關スル事項
- 十二 電信電話線ノ不通全通ニ關スル事項

計理課

主計掛

- 一 歳入歳出ノ豫算決算及現計ニ關スル事項
- 二 歳出豫算ノ増減流用及繰越ニ關スル事項
- 三 仕拂豫算及仕拂命令ニ關スル事項
- 四 歳入關定額及確定額ノ繰越並不納缺損處分ニ關スル事項
- 五 歳入關定徵收收納及下戻ニ關スル事項
- 六 歳入ノ過誤納下戻及缺損補填ニ關スル事項
- 七 經費ノ支出、定額繰越戻入及過年度支出ニ關スル事項

- 八 保管證書ニ關スル事項
- 九 郵便所以下經費支給ニ關スル事項
- 十 歳入歳出外現金出納ノ検査ニ關スル事項
- 十一 會計ノ検査ニ關スル事項
- 十二 證明書類ノ検査ニ關スル事項
- 十三 工事竣工及其ノ既濟部分ノ検査ニ關スル事項
- 十四 物品及郵便切手類ノ出納検査ニ關スル事項
- 十五 會計検査院ノ質疑ニ關スル事項
- 十六 仕拂命令官及歳入徵收官官印ノ保管ニ關スル事項
- 十七 課中他ノ掛ニ關セサル事項

調度掛

- 一 物品ノ賣買貸借ニ關スル事項
- 二 運送備役等ノ受負契約ニ關スル事項
- 三 物品ノ受拂命令ニ關スル事項
- 四 物品ノ出納及保管ニ關スル事項
- 五 物品ノ亡失毀損及不用物品ニ關スル事項
- 六 物品ノ用量及經理ニ關スル事項
- 七 郵便切手類及收入印紙ノ賣捌買戻出納及保管ニ關スル事項
- 八 物品會計官吏及切手類會計官吏官印ノ保管ニ關スル事項

廳舎掛

- 一 廳舎營繕工事ノ設計及監督ニ關スル事項
- 二 土地及家屋ノ賣買貸借ニ關スル事項
- 三 官有財産ノ管理ニ關スル事項
- 四 官舎貸渡ニ關スル事項
- 五 電燈煖房具ノ設備及其ノ管理ニ關スル事項
- 六 局内外ノ取締ニ關スル事項
- 七 本局所屬巡視給仕小使其ノ他諸傭人ニ關スル事項
- 八 非常警備ニ關スル事項

出納課

精算掛

- 一 郵便爲替金、郵便貯金及郵便取立金ノ受拂精算ニ關スル事項
- 二 歳入金、歳出金及歳入歳出外現金ノ受拂精算ニ關スル事項
- 三 韓國國庫金ノ受拂精算ニ關スル事項
- 四 郵便爲替金、郵便貯金及郵便取立金共ノ他各種現金ノ受拂證據書類ノ調査及整理ニ關スル事項
- 五 資金及過超金ノ受授ニ關スル事項
- 六 出納官吏及出納員ノ現金出納證明ニ關スル事項
- 七 郵便爲替、郵便貯金、郵便取立金ノ各證書及郵便貯金通帳ノ記號番號並其ノ交付ニ關スル事項

- 八 出納官吏官印ノ保管ニ關スル事項
- 九 課中他ノ掛ニ屬セサル事項

爲替貯金掛

- 一 郵便爲替金及郵便取立金ノ受拂調理ニ關スル事項
- 二 郵便爲替證書ノ發行ニ關スル事項
- 三 郵便爲替金及郵便取立金ノ記帳計算ニ關スル事項
- 四 郵便貯金ノ預拂調理ニ關スル事項
- 五 郵便貯金原簿登記ニ關スル事項
- 六 郵便貯金預入申込書及印鑑ノ整理保管ニ關スル事項
- 七 郵便貯金通帳ノ利子記入及檢閱ニ關スル事項
- 八 郵便貯金拂戻證書及郵便貯金登記濟通知書ノ發行ニ關スル事項
- 九 郵便爲替及郵便貯金事業用局長印ノ保管ニ關スル事項

工務課

工事掛

- 一 電信電話線路ノ建設及保守工事ニ關スル事項
- 二 電信電話線及電氣信號線ノ建築保存ノ委託ニ關スル事項
- 三 電信電話保守區域ノ畫定變更ニ關スル事項
- 四 電信電話工事用經費物品及通信用機械電池類ノ査定並配給調査ニ關スル事項
- 五 水底線陸揚室ニ關スル事項

- 六 工手職工工夫以下ノ身分進退功過服務ニ關スル事項
- 七 職工工夫ノ定員定率並手當ニ關スル事項
- 八 課中他ノ掛ニ屬セサル事項

試験掛

- 一 電信電話ノ學術的研究及應用ニ關スル事項
- 二 電信電話機械ノ裝置及維持方法ニ關スル事項
- 三 電信電話用機械器具材料ノ仕様書調製及試験ニ關スル事項
- 四 電信電話建築法、電信電話裝置法及電信電話線試驗法ニ關スル事項
- 五 電信電話線ノ障害及其ノ報告調査ニ關スル事項
- 六 電信電話線ノ試驗及其ノ報告調査ニ關スル事項
- 七 電信電話試驗區域ノ畫定變更ニ關スル事項
- 八 電信電話機械ノ製作及修繕ニ關スル事項

附則

本令ハ明治三十九年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

○内務省訓令第十八號

北海道廳 府縣

明治三十年^四月拓殖務省訓令第十六號ヲ左ノ通り改正ス

明治三十九年十一月十九日

内務大臣原敬

- 一 北海道廳長官ハ隨時北海道拓殖ニ關スル必要ノ事項ヲ府縣知事ニ通知スヘシ
- 二 前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ府縣知事ハ適宜ノ方法ヲ以テ之ヲ管内ニ公示スヘシ
- 三 一時ニ多數ノ移住者北海道へ出發セントスルトキハ府縣知事ハ其取締保護ニ注意シ豫メ到著港及到著豫定期日ヲ北海道廳長官ニ通知スヘシ
- 四 北海道移住民規則第三條ニ依リ團結移住者ニ對シテ證明シタルトキハ府縣知事其事項ヲ七日以内ニ北海道廳長官ニ通知スヘシ
- 五 府縣ニ於テ北海道移住民ニ關スル事項ヲ規定シタルトキハ其重要ト認ムヘキモノハ之ヲ北海道廳長官ニ通知スヘシ

○大藏省訓令第四十四號

稅務監督局

明治三十二年^八月大藏省訓令第六十號租稅ニ關スル現況報告表様式左ノ通改正ス

明治三十九年十一月五日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

本年^三大藏省訓令第三號明治三十九年度大藏省所管歳入科目表歳入經常部第四款雜收入第九項小笠原島地方收入中ニ第三目辨償金ノ目ヲ設置ス

明治三十九年十一月三十日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

○陸軍省訓令丙第二十九號

明治三十九年度當省所管歳入歳出科目表中左記ノ通増設ス

明治三十九年十一月一日

陸軍大臣寺内正毅

△印増設

歳出經常部

款	項	目	節
軍 事 費	修 繕 費	△ 金澤衛戍病院消毒 所其他移轉機機費	

陸軍一般

○陸軍省訓令丙第三十號

明治三十九年度當省所管歳入歳出科目表中へ左記ノ通増設ス

明治三十九年十一月一日

陸軍大臣寺内正毅

△印増設

歳入臨時部

款	項	目	節
官有物拂下代			

△船舶拂下代

△船舶拂下代

陸軍一般

○陸軍省訓令丙第三十一號

明治三十九年度當省所管歳入歳出科目表中へ左記ノ通増設ス

明治三十九年十一月二十九日

陸軍大臣寺内正毅

△印増設

歳出經常部

款	項	目	節
軍 事 費	修 繕 費	△ 陸軍省官舎第一 部將校宿舎修繕	

○司法省訓令第一號

明治三十四年司法省訓令第十一號在監人賞與規程中左ノ通改正ス

明治三十九年十一月二十八日

司法大臣松田正久

第三條中「再ハ賞與スルコトヲ得ス」ノ下ニ左ノ但書ヲ加フ

但改換ノ狀最モ顯著ナルモノハ其期間ヲ一箇年迄ニ短縮スルコトヲ得

統監府法務院理事廳

○統監府訓令第二十九號(官報十一月七日)

刑ノ執行猶豫事件取扱規程左ノ通定ム

明治三十九年十二月一日

統監侯爵伊藤博文

刑ノ執行猶豫事件取扱規程

- 第一條 理事廳ニ於ケル刑ノ執行猶豫ニ關スル手續ハ本規程ニ從ヒ取扱フヘシ
- 第二條 刑ノ執行猶豫ハ成ルヘク一定ノ住所ヲ有スル者ニ止ムヘシ
若シ一定ノ住所ナキ者ニ對シ刑ノ執行猶豫ノ判決アリタルトキハ檢事ノ職務ヲ行フ職員ハ犯人ヲシテ速ニ住所ヲ定メ届出テシムヘシ
- 第三條 刑ノ執行猶豫ノ裁判アリタル場合ニ於テ檢事ノ職務ヲ行フ職員其ノ裁判ヲ相當ト思料スルトキハ犯人ニ對シ左ノ事項ヲ告知スヘシ
 - 一 刑ノ言渡ヲ爲シタル判決ニ對シ上訴ヲ爲シタルトキハ更ニ執行猶豫ノ裁判アルニ非サレハ先ニ言渡サレタル執行猶豫ノ裁判ハ當然其ノ效力ヲ失フヘキコト
 - 二 執行猶豫ノ始期及終期
 - 三 猶豫期間内ハ其ノ言行ヲ慎ミ犯罪行為ヲ爲スヘカラス若シ他ノ犯罪ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキハ執行猶豫ノ裁判ヲ取消サレ前後ノ刑ヲ併セテ執行セラルヘキコト
 - 四 猶豫期間内禁錮以上ノ刑ノ言渡ヲ受ケサルニ於テハ全然刑ノ執行ヲ免除セラルヘキコト
 - 五 現在ノ住所ヲ轉シタルトキハ其ノ旨新舊所轄警察官署ニ届出ツヘキコト
 - 六 五日以上ノ旅行ヲ爲サルトスルトキハ其ノ旨所轄警察官署ニ届出ツヘキコト、歸宅シタルトキ亦同シキコト
- 前項ノ告知ヲ爲シタルトキハ別紙第一號書式ノ刑執行猶豫心得書ヲ犯人ニ交付スヘシ
- 第四條 刑ノ執行猶豫ノ裁判アリタル場合ニ於テ犯人勾留中ニ係ルトキハ別紙第二號書式ノ指揮

書ヲ作り司獄官ニ送付シテ出監手續ヲ爲スヘシ

- 執行猶豫ノ裁判ヲ相當ナリト思料スルトキハ裁判確定前ト雖出監手續ヲ爲スコトヲ得
- 第五條 刑ノ執行猶豫ノ裁判確定シタルトキハ犯人ノ住所地ヲ管轄スル理事廳警察官署ニ通知スヘシ
- 犯人住所ヲ轉シタルトキハ其ノ轉住地ヲ管轄スル理事廳警察官署ニ通知スヘシ但シ日本帝國内ニ轉住シタルトキハ其ノ管轄地方裁判所檢事局ニ通知スヘシ
- 犯人死亡シ若ハ所在不分明トナリタルトキハ其ノ執行猶豫ノ裁判ヲ爲シタル官廳ニ通知スヘシ
- 第六條 前條ノ通知書ハ別紙第三號書式ニ依ルヘシ
- 第七條 刑ノ執行猶豫ノ裁判確定シタルトキハ別紙第四號書式ノ刑執行猶豫事件簿ニ其ノ登録ヲ爲スヘシ第五條第一項第二項ノ通知ヲ受ケタルトキ亦同シ
- 第五條第三項ノ通知ヲ受ケタルトキハ刑執行猶豫事件簿ニ其ノ記入ヲ爲スヘシ
- 第八條 檢事ノ職務ヲ行フ職員ハ執行猶豫ノ取消事由アリト思料スルトキハ別紙第五號書式ニ依リ所轄理事廳ニ其ノ請求ヲ爲スヘシ
- 執行猶豫取消ノ決定確定シタルトキハ第五條第三項ニ準シテ通知スヘシ
- 第九條 刑ノ執行猶豫及執行猶豫取消ノ裁判確定シタルトキハ三月毎ニ別紙第六號書式ノ表ヲ製シ統監府法務院長ニ申報スヘシ
- 第十條 本規程ハ統監府法務院ニ之ヲ準用ス

(別紙)

第一號書式

刑執行猶豫心得書

住所身分職業

何 某 年 月

右 事件ニ付明治 年 月 日

理察ニ於テ

附加罰金

ニ處セラレ明治 年 月 日

刑ノ執行猶豫ハ明治 年 月 日ニ始リ明治 年 月 日ニ終ル

一 罰ノ執行猶豫ハ明治 年 月 日ニ始リ明治 年 月 日ニ終ル

二 罰ノ執行猶豫ハ明治 年 月 日ニ始リ明治 年 月 日ニ終ル

三 若シ猶豫期間内ニ他ノ犯罪ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキハ執行猶豫ノ裁判ハ取消サレ前後ノ刑ヲ併セテ執行セラルヘシ

四 住所ヲ轉シタルトキハ其ノ旨新舊所轄警察官署ニ届出ツヘシ

五 五日以上ノ旅行ヲ爲サルトキハ其ノ旨所轄警察官署ニ届出ツヘシ離宅シタルトキ亦同シ

明治 年 月 日

何理事廳

檢事事務取扱警(部)何 某印

第二號書式ノ一

(注意第四條第二項ノ場合ニ於テハ右判決確定シタルトキハ其ノ旨所轄警察官署ニ届出ツヘシ)

指揮書

住所身分

何 某 年 月 日

右ハ 事件ニ付明治 年 月 日

判決確定日明治 年 月 日

刑ノ執行猶豫ハ明治 年 月 日

判決確定日明治 年 月 日

何理事廳

檢事事務取扱警(部)何 某印

何理事廳

監獄事務取扱官

殿

第二號書式ノ二

(注意第四條第二項ノ場合ニ於テハ該決定シタルトキハ其ノ旨所轄警察官署ニ届出ツヘシ)

指揮書

住所身分

何 某 年 月 日

右 事件ニ付明治 年 月 日

判決確定日明治 年 月 日

刑ノ執行猶豫ハ明治 年 月 日

判決確定日明治 年 月 日

何理事廳

檢事事務取扱警(部)何 某印

何理事廳

監獄事務取扱官

殿

第三號書式

用紙ハガキ

刑ノ執行猶豫ニ關スル通知書

○大藏省訓令第四十七號

鹽務統計臺帳調製規程左ノ通相定ム

鹽務局

明治三十九年十二月十二日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

鹽務統計臺帳調製規程

- 第一條 鹽務局及鹽務局出張所ニハ鹽務統計臺帳ヲ設備スヘシ
- 第二條 鹽務局ハ全管分統計臺帳ト其ノ局直轄分統計臺帳トヲ區別設備スルヲ要ス
- 第三條 鹽務統計臺帳ハ五箇年間繼續記載スルモノトス
- 第四條 各表備考欄ニハ前年ニ對スル増減ノ事由及法令ノ改正其ノ他參照トナルヘキ事項ヲ記載スヘシ
- 第五條 各表ニハ圓、斤、町等ノ單位稱呼ヲ標記シ單位以上ノ數ハ三位毎ニ「」ヲ附シ空欄ニハ「」ヲ填ムヘシ
- 第六條 鹽務統計臺帳ニハ其ノ管内地圖ヲ添附シ之ニ國界、郡界、國道、府縣道、里道、鐵道、市、町、諸官衙公署、倉庫、鹽集散地等ヲ適宜標記スヘシ
- 第七條 鹽務局設備ノ全管分統計臺帳ニ登錄スヘキ事項ハ別記様式ニ據ルヘシ
- 鹽務局直轄分及鹽務局出張所統計臺帳ハ之ニ準シ調製スルモノトス
- 様式ヲ示サ、ル事項ニシテ必要ト認ムルモノアルトキハ本規程ニ準シ調製設備スルモ妨ケナシ
- 第八條 鹽務局ハ統計臺帳ノ原本ヲ調製シ別ニ定ムル期限ニヨリ之ヲ主稅局ニ送付スヘシ

附則

第九條 本規程ニ依リ備フヘキ彙帳ハ明治三十八年度分ヨリ編製スヘシ但明治三十八年度分ハ六月一日以降ノ分ニ就キ編製スルモノトス

鹽務統計彙帳目錄

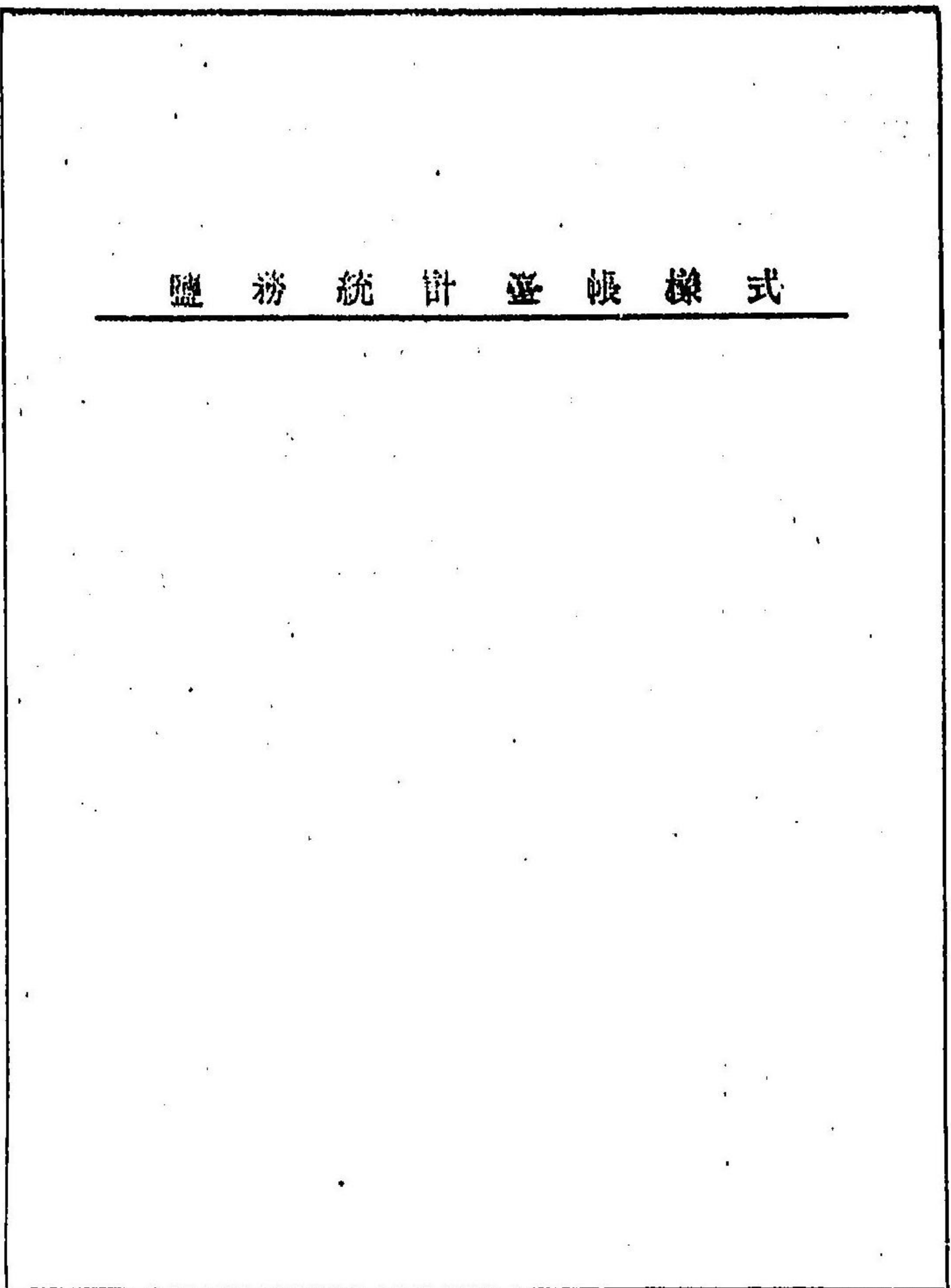
- 第一 管區表
- 第二 鹽製造人員場數製造高表
- 第三 鹽製造人員場數製造高月別表
- 第四 鹽製造方法別製造高表
- 第五 鹽再製高表
- 第六 鹹水製造人員及製造高表
- 第七 鹽製造高等級別表
- 第八 鹽製造高等級月別表
- 第九 鹽再鑑定成績表
- 第一〇 鹽製造高別人員表
- 第一一 內地鹽受入高表
- 第一二 內地鹽受入高月別表
- 第一三 鹽包裝別區分表
- 第一四 外國鹽輸入高表
- 第一五 臺灣鹽移入高表

- 第一六 鹽回送拂出高表
- 第一七 回送鹽受入高表
- 第一八 鹽拂出高表
- 第一九 鹽拂出高月別表
- 第二〇 特別定價賣渡鹽用途別區分表
- 第二一 特別定價賣渡鹽用途別區分月別表
- 第二二 鹽賣渡高別人員表
- 第二三 鹽損害高表
- 第二四 鹽賣渡代金即納及延納高表
- 第二五 鹽賣渡代金即納及延納高月別表
- 第二六 鹽專賣交付金下付高表
- 第二七 鹽專賣交付金下付高月別表
- 第二八 鹽專賣追徵金額表
- 第二九 鹽專賣追徵金額月別表
- 第三〇 鹽專賣調定額表
- 第三一 鹽受拂收入支出金額表
- 第三二 鹽受拂收入支出金額月別表
- 第三三 鹽專賣費現計額表

- 第三四 鹽專賣計算表
- 第三五 鹽賣渡納代金擔保種別表
- 第三六 鹽回送賣渡請求擔保種別表
- 第三七 漁獲物鹽藏用鹽賣渡請求擔保種別表
- 第三八 外國鹽及臺灣鹽賣渡請求擔保種別表
- 第三九 鹽田自作、小作、人員、段別表
- 第四〇 鹽田地價最高最低表
- 第四一 鹽田一段步當賣買價格表
- 第四二 鹽田一段步當貸賃價格表
- 第四三 鹽卸賣百斤當價格表
- 第四四 鹽小賣一斤當價格表
- 第四五 鹽小賣一升當價格表
- 第四六 鹽生產費表
- 第四七 鹽製造石炭消費費高表
- 第四八 鹽百斤當賠償價格表
- 第四九 天候雨量表
- 第五〇 鹽專賣法違犯者表
- 第五一 鹽專賣法違犯者行為別人員表

(別記樣式)

鹽務統計帳簿樣式



第一 管								
府位置	管轄區域	面積	出張所數	倉庫事務所數	郡數	市數	區數	町數

區 表					
村數	戶數	人口	設置地所在町村數	出張所一巡里徑	備 考
					(一) 局ノ位置ハ府縣郡市區町村ヲ記入スルモノトス (二) 管轄區域欄ニハ何府縣一圓、何縣何郡一圓 又ハ何縣何郡ノ内何村、何村等ト記入スルモノトス (三) 面積ハ方里未満二位ニ止メ三位以下切捨ツルモノトス (四) 戶數、人口ハ府縣ノ統計ニ依リ記入シ尙毎年一回更訂ノ上之ヲ備考ニ掲記スルモノトス (五) 出張所一巡里徑ハ順路ニ依リ陸路汽車路水路等各區分シ陸路ハ町位ニ汽車路水路ハ哩(里)以下ハ歩合ヲ以テ表示シ四捨五入シテ分位ニ止ムルモノトス (六) 本表中異動ヲ生シタルトキハ全部改記シ沿革ヲ備考ニ掲ケルモノトス

第二 鹽製造人員、場

局所別	製造人員 人	製造場數	製鹽地段別		結晶釜數				
			探鹹地	製造區數地其他	石釜	鐵釜	其ノ他		
			町	坪	箇	箇	箇		
何年度									
何府縣									
何局直轄									
何出張所									
、									
、									
計									
何府縣									
何出張所									
、									
計									
合計									
何年度									
(以下同上)									

數、製造高表

製造高	製 造 高			備 考
	收納	指定別數	自家用	
噸	斤	斤	斤	斤

(一)製造高ハ會計年度ニ依リ其ノ他ハ年度末日現在ヲ記入スルモノトス
(二)鹽再製業者ニ係ル分ハ外賣スルモノトス

明治三十九年十二月 訓令 大藏省第四十七號 鹽務統計暨製鹽規程

三三九

第三 鹽製造人員場							
年月次	製造人員 人	製造場數	製鹽地段別		結品量數		
			採鹹地 町	製鹽場數其他 坪	石釜 圓	鐵釜 圓	其ノ他 圓
何年度 四 月 五 月 六 月 計 何年度 (以下同上)							

製造高月別表

製造高種別	製造高			備 考
	收納 斤	指定引鹽 斤	自家用 斤	
				(一)製造高ハ其ノ月分ヲ其ノ他ハ其ノ月末日現在ヲ記入スルモノトス (二)鹽再製業者ニ係ル分ハ外書スルモノトス

明治三十九年十二月 訓令 大藏省第四十七號 鹽務統計暨製鹽規程

三三八

第四 鹽製造方法

製造方法	製造人員	製造場數	製造地段別		結晶	
			採鹹地	製法	石	鏡
何年度	人		町	外	目	目
入海製鹽						
何府縣計						
揚液製鹽						
何府縣計						
何製鹽						
、						
、						
合計						
何年度						
(以下同上)						

別製造高表

數	製造高	製造高	備	考
目	目	目		

(一)製造高ハ會計年度ニ依リ其ノ他ハ年度末日現在ヲ記入スルモノトス
 (二)製造方法數種ヲ兼ヌルモノハ主タル一方ニ點書シ他ハ赤書スルモノトス

第五 鹽 再 製

局 所 別	燒 鹽			鹹 水 混 和				海 水
	原料鹽使用高	製造高	歩合	原料鹽使用高	鹹水使用高	製造高	歩合	原料鹽使用高
何 年 度	斤	斤		斤	石	斤		斤
何局直轄 何出張所 、 、 計								
何 年 度 (以下同上)								

高 表

苦汁混和		淡 水 混 和		備 考
製造高	歩合	原料鹽使用高	製造高	
斤		斤	斤	
				(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス
				(二)淡水又ハ海水等ヲ混和シ製成シタル鹽ヲ以テ燒鹽ヲ製造シタルモノハ燒鹽關ノミニ掲記シ重額掲上セサルモノトス
				(三)歩合欄ニハ原料使用鹽百ニ對スル製造高歩合ヲ掲記スルモノニシテ四捨五入シ單位ニ止ムルモノトス
				(四)鹽專賣法施行細則第二十四條ニ依ル收納高ヲ備考ニ掲記スルモノトス

第六		鹹水製造人員		
局所別	人員	總高	製造高	寬波高
何年度 何局直轄 何出張所 、 、 計	人	石	石	石
何年度 (以下同上)				

及製造高表		
減耗高	殘高	備考
石	石	(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス (二)人員備ニハ年度末日現在ヲ記入スルモノトス

明治三十九年十二月 訓令 大藏省第四十七號 鹽務統計表帳調製規程

第七		鹽製造高				
局所別	優等	一等	二等	三等	四等	
何年度	斤	斤	斤	斤	斤	
何府縣						
何局直轄						
何出張所						
計						
何府縣						
何出張所						
計						
合計						
何年度						
(以下同上)						

明治三十九年十二月 訓令 大藏省第四十七號 鹽務統計表帳調製規程

等級別表			
五等	外	合計	備考
斤	斤	斤	(一)會計年度=依り記入スルモノトス

第九 鹽 再 鑑 定

局 所 別	當初鑑定時ヨリ上地ノモノ			當初鑑定ト同等級ナリモノ			當初鑑定時ヨリ下リ	
	人員	件數	數量	人員	件數	數量	人員	件數
	人	件	斤	人	件	斤	人	件
何年度								
何局直轄								
何出張所								
計								
何年度 (以下同上)								

成 績 表

モノ	合 計			再鑑定費用	備 考
	人員	件數	數量		
數量	人員	件數	數量	圓	
斤	人	件	斤		
					(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス (二)同一人ニシテ數回再鑑定ヲ申立ルモ人員ハ一人トシテ計算スルモノトス

第一〇 鹽製造商							
局所別	二百萬斤以上	百萬斤以上	五十萬斤以上	三十萬斤以上	十萬斤以上	五萬斤以上	三萬斤以上
何年度 何局直轄 何出張所 、 、 計 何年度 (以下同上)	人	人	人	人	人	人	人

別人員表			
一萬斤以上	一萬斤未満	合計	備 考
人	人	人	(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス (二)法人ハ相當欄ニ内書表示スルモノトス (三)再製鹽者ハ算入セサルモノトス

第一一		内地鹽					
局所別	越 高	收 納		指 定 引 渡		保 管 引 受	沒 收
		數 量	賠 償 金 額	數 量	賠 償 金 額		
何 年 度	斤	斤	圓	斤	圓	斤	斤
何 局 直 轄							
何 出 販 所							
計							
何 年 度							
(以下同上)							

受 入 高 表					
量 増	不 用 額 本 受	雜 受	合 計		備 考
			數 量	賠 償 金 額	
斤	斤	斤	斤	圓	
					(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス
					(二)回送ニ依ル保管引換受ハ本表ニ算入セサルモノトス

明治三十九年十二月 訓令 大藏省第四十七號 鹽務統計表製圖規程

第一二		內地鹽受					
年月次	收 納		指 定 引 渡		保管額納受	沒 收	量 增
	數 量	賠償金額	數 量	賠償金額			
何 年 度	斤	圓	斤	圓	斤	斤	斤
四 月							
五 月							
六 月							
計							
何 年 度 (以下同上)							

三五七

入 高 月 別 表				備 考
不用額本受	雜 受	合 計		
		數 量	賠償金額	
斤	斤	斤	圓	

明治三十九年十二月 訓令 大藏省第四十七號 鹽務統計表製圖規程

三五六

第一三		鹽包裝別					
局所別	八十斤俵		四十斤俵		何		備
	筒數	數量 斤	筒數	數量 斤	筒數	數量 斤	
何年度							(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス
何局直轄 何出張所 、 、 計 何年度 (以下同上)							

區分表			
數量	撒鹽數量 斤	數量計 斤	備考

第一七		回送鹽受										
		優等		一等		二等		三等		四等		五
拂出局名	何年度 前年度分 何局、 、 計 本年度分 何局、 、 計 合計 何年度 (以下同上)	数量	相償價格	数量	相償價格	数量	相償價格	数量	相償價格	数量	相償價格	数量
		斤	圓	斤	圓	斤	圓	斤	圓	斤	圓	斤

入高表									
等	等	外	合計		同種受	受入未済高		備 考	
			数量	相償價格		数量	相償價格		
圓	斤	圓	斤	圓	圓	斤	圓		
								(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス	
								(二)自局管内回送受入ニ係ル分ハ本表ニ準シ別表ニ調製スルモノトス	

第一八

鹽 拂 出

局 所 別	實 績									
	收 納 額		指 定 引 渡 額		指 定 引 渡 額		指 定 引 渡 額		計	
	一般定額	特別定額	一般定額	特別定額	一般定額	特別定額	一般定額	特別定額	一般定額	特別定額
數量	代金	數量	代金	數量	代金	數量	代金	數量	代金	
何年度	斤	圓	斤	圓	斤	圓	斤	圓	斤	圓
内地鹽										
何局直轄										
何出張所										
計										
外國鹽										
臺灣鹽										
計										
合 計										
何年度										
(以下同上)										

高 表

特別定額	雜 拂				年度末現在		備 考		
	數量	代金	量減	額未用拂出	共ノ他	計		數量	價格
斤	圓	斤	圓	斤	圓	斤	圓		

(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス
 (二)前年度ヨリ持越ニ係ル分モ相當額ニ合算掲記スルモノトス

第二〇

特別定價賣渡

局所別	輸出		移出		肥料用		肥料用		獣皮保存用	
	数量	代金	数量	代金	数量	代金	数量	代金	数量	代金
	斤	圓	斤	圓	斤	圓	斤	圓	斤	圓
何年度 内地鹽 何局直轄 何出張所、 計 外國鹽、 產鹽、 計 何年度 (以下同上)										

鹽用途別區分表

破業用		肥料用		合計		備 考
数量	代金	数量	代金	数量	代金	
斤	圓	斤	圓	斤	圓	
						(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス

第二二 鹽 賣 渡 高							
局 所 別	二百萬斤以上	百萬斤以上	五十萬斤以上	三十萬斤以上	十萬斤以上	五萬斤以上	三萬斤以上
	人	人	人	人	人	人	人
何 年 度 何局直轄 何出張所 、 、 計							
何 年 度 (以下同上)							

別 人 員 表			
一萬斤以上	一萬斤未満	合 計	備 考
人	人	人	
			(一) 會計年度ニ依リ記入スルモノトス (二) 法人ハ相當額ニ内書表示スルモノトス

第二四		鹽賣渡代金即					
局 所 別	即 納		延				
	數 量	代 金	越 高		本年度賣渡		
			數 量	代 金	數 量	代 金	
何 年 度	斤	圓	斤	圓	斤	圓	
何 年 度							
內 地 鹽							
何 局 直 轄							
一 般 定 價							
特 別 定 價							
何 出 販 所							
、 計 價 所							
、 計 價 所							
合 一 特 別 定 價							
外 國 鹽							
、 鹽 課 稅							
、 鹽 課 稅							
總 計							
何 年 度							
(以下同上)							

納及延納高表					
納				考	
代金收入計		代金收入未納本年度へ繰越		備	
數 量	代 金	數 量	代 金		
斤	圓	斤	圓		
				(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス	

第二五

納即代金渡賣鹽

年月次	即 納		延				代金收 數量
	數量	代金	越 高		賣 渡		
			數量	代金	數量	代金	
斤	圓	斤	圓	斤	圓	斤	
何年度							
內地鹽							
四 月							
一般定價							
特別定價							
計 月							
五 月							
、							
、							
合 計							
一般定價							
特別定價							
計							
外國鹽							
、							
、							
臺灣鹽							
、							
、							
總 計							
何年度							
(以下同上)							

及延納高月別表

入 濟	納		備 考	
	代金	代金收入未納次月へ繰越		
		數量		代金
圓	斤	圓		

下付高月別表

用	出 入		合 計		備 考
	金額	數量	金額	數量	
円	斤	円	斤	円	

第二六 鹽專賣交付金下付高表

種 別	數 量	金 額	備 考
	斤	円	
何 年 度			(一) 會計年度ニ依リ記入スルモ ノトス
内 地 鹽			
移 出 用			
何 用			
、 計			
外 國 鹽			
、 計			
海 鹽			
、 計			
合 計			
何 年 度			
(以下同上)			

明治三十九年十二月 訓令 大蔵省第四十七號 鹽務統計新帳調製規程

徴金額表

保存用	破業用		貯蔵用		合計		備 考
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
円	斤	円	斤	円	斤	円	(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス

第二七

鹽專賣交付金

年 月 次	移 出		移 入		賦皮保存用		破業
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
何年度							
内地鹽							
四 月							
五 月							
計							
外國鹽							
臺灣鹽							
合計							
何年度 (以下同上)							

明治三十九年十二月 訓令 大蔵省第四十七號 鹽務統計新帳調製規程

明治三十九年十二月 附令 大蔵省第四十七號 國務統計部編製

支出金額表

出		差引損益	残存額原價	備 考
交付金	計			
				(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス (二)差引損益額ノ損金ハ添書スルモノトス

三九三

第三〇

鹽 専 賣

局 所 別	越 高	賣渡代金	合 計	調 定	
				收入済額	缺損額
何 年 度 内地鹽 何局直轄 何出張所 計					
外 國 鹽 計					
合 計 何 年 度 (以下同上)					

明治三十九年十二月 附令 大蔵省第四十七號 國務統計部編製

三九四

明治三十九年十二月 訓令 大藏省第四十七號 昭統統計帳調製規程

出金額月別表

交付金	出		差引損益	月末現在額原價	備 考
	計				
					(一) 收入、支出ノ確定額ニ就キ記入スルモノトス (二) 差引損益欄ノ損金ハ赤字スルモノトス

第三一

受拂收入

局 所 別	收 入			計	支
	一般定額費代金	特別定額費代金	追徴金		
何 年 度					
内 地 關					
收入、支出確定額					
收入、支出費額					
外 國 關					
收入、支出確定額					
收入、支出費額					
港 灣 關					
收入、支出確定額					
收入、支出費額					
何 年 度 (以下同上)					

明治三十九年十二月 訓令 大藏省第四十七號 昭統統計帳調製規程